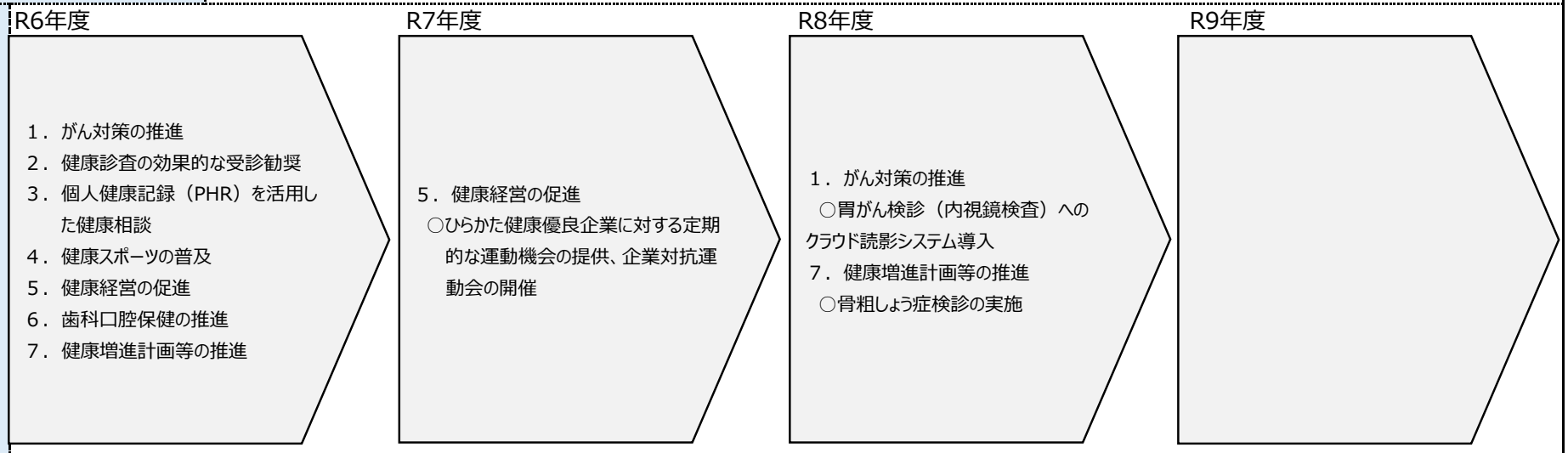
施策シート【06_01】

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	**からだの健康の増進**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち
めざす姿（主観的満足度）		心身ともに健康に暮らせる環境が整っている
概要		健康増進に関する情報提供や相談体制の充実、疾病の予防や早期発見を進める。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【06_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

１．がん対策の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
がんに関する正しい知識の普及啓発及びがん検診等を実施。併せて、ウイッグ等の補整具の購入費用を一部助成するなど、がんの「予防」から「早期発見」及び「患者支援」まで、大学や企業等とも連携し、総合的ながん対策を推進。	①ウイッグ等の補整具の購入費用を一部助成 ②がん検診受診率向上に向けて医療機関や関係機関と連携した受診勧奨の取組及び国の指針に基づくがん検診の実施に向けて検討 ③大学や企業等との連携によりがんに関する正しい知識の普及等がん対策を含む健康医療福祉に対する啓発活動・情報発信の協力	①ウイッグ等の補整具の購入費用を一部助成 ②がん検診受診率向上に向けて医療機関や関係機関と連携した受診勧奨の取組及び国の指針に基づくがん検診の実施 ③大学や企業等との連携によりがんに関する正しい知識の普及等がん対策を含む健康医療福祉に対する啓発活動・情報発信の協力 ④令和７年度末で前立腺がん検診を廃止	・継続 ・胃がん検診（内視鏡検査）へのクラウド読影システム導入 ・国の指針に沿ったがん検診の実施（受診間隔及び対象者の変更）及び受診勧奨対象者の拡充変更	・継続 ・受診勧奨継続実施及びPMHについて先行市の状況把握、国の動向注視	健康づくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
補整具の購入費用助成や大学企業との連携については今後も継続実施する。受診勧奨の取組及び指針に基づくがん検診の実施については実施に向け準備していく。	①問題なく実施できた　②国の指針変更の説明会などに参加し、方向性を検討した　③健康フェアなどの機会を利用して啓発した	①問題なく実施できた。 ②④令和8年度からの見直し・変更に向け、医師会等との調整を図り準備を進めた。 ③企業とともに乳がんについての講演会を開催するなど啓発・情報発信の協力を図った。			
年度ごとの達成状況	◯	◯			

施策シート【06_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

2. 健康診査の効果的な受診勧奨

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市国民健康保険被保険者のレセプトや特定健康診査等のデータ分析を行うとともに、特定健康診査未受診者に対して、大阪大学が作製したAIツールを活用した受診勧奨を実施。	6月以降に行った前年度データの分析結果から効率的・効果的な受診勧奨の手法を秋頃に検証して活用	継続	継続	継続	健康づくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
今後は分析した検証結果をもとに、受診勧奨に取り組んでいく。	令和5年度までの検証結果より、受診勧奨は年２回実施し、うち１回目は内容がシンプルなはがきの送付、２回目はショートメッセージサービス（SMS）の送信を行った。また、１回目からSMSによる受診勧奨が効果的か引き続き検証（検証結果は令和７年度）をしたが、効率的・効果的な受診勧奨として、一定の方法を構築することできた。	令和６年度に実施した最後の検証結果を取りまとめ、効率的・効果的な受診勧奨の方法を完成させることができた。 令和８年度からの受診勧奨の方法として、１回目の勧奨ははがきの発送、２回目の勧奨ははがきの送付、またはSMS２回発信の方法で実施していく。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【06_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

３．個人健康記録（PHR）を活用した健康相談

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民自らが、スマホ等で時系列的に健康状態を把握し、適切な健康行動を実践できるよう、国が進める健康・医療・介護の分野等の情報を集約し活用すること」を踏まえ、その集約されたPHR情報の活用を周知するとともに、健康相談対応を実施。	①PHRの活用等の周知 ②PHRの環境整備状況の進捗を踏まえつつ、PHR等を活用した健康相談を実施	継続	継続	継続	健康づくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
PHRの活用等についての周知は、引き続きおこなっていく。 PHRを活用した健康相談の実施については利用環境などが整いきれておらず利用にはつながりにくい現状。	①健診の受け方を説明した冊子において、マイナポータルに関する内容を記載し周知を図ることができた。 ②PHRを活用した相談の実施は1件と少なかった。	①健診の受け方を説明した冊子において、マイナポータルに関する内容を記載し周知を図ることができた。 ②希望する者にはマイナポータルを利用し健康相談を行った。			
年度ごとの達成状況	◯	◯			

施策シート【06_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

４．健康スポーツの普及

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民のスポーツ振興を図り、健康増進や高齢者の介護予防の取り組みとして、地域展開における楽10体操やボディバランスチェック体験、朝活ストレッチなどの事業を実施。枚方市内の企業への健康経営の取り組みとしてオーダーメイドプログラム（健康パッケージ）を提供。	・高齢者向けのプログラムや、企業向けの健康経営プログラムなどの提供 ・健康スポーツ教室や健康経営セミナー等を実施（補助金交付）	継続	継続	継続	スポーツ振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
プログラムの提供に加えて、健康経営への関心が高まっている企業への、職種や年代に応じたオーダーメイドプログラムの実施や相談が増えていることから、今後も、多様化するニーズに対応したプログラム等の提供に取り組んでいく。	・楽10体操やボディバランスチェック体験、朝活ストレッチなどの事業（全4事業）を実施した。 ・健康経営セミナーやオーダーメイドプログラム（115件）を提供した。	・楽10体操、朝活ストレッチ、健康測定事業などの事業（全4事業）を実施した。 ・健康経営セミナーやオーダーメイドプログラム（102件）を提供した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【06_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

５．健康経営の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
働く世代の健康増進を図るため、地域・職域連携推進の取り組み等により、健康経営（従業員の健康づくりの取組）を行う企業の増加を図るとともに、北大阪商工会議所等との連携のもと、健康経営を行う企業を支援。	①地域・職域連携推進連絡会の開催及び健康経営普及セミナー、企業交流会等の開催の継続実施 ②健康経営を行う企業の更なる推進及び相互支援のしくみづくりについて検討	①地域・職域連携推進連絡会、健康経営普及セミナー等の継続実施、ひらかた健康優良企業に対する支援 ②ひらかた健康優良企業従業員に対する定期的な運動機会の提供 ③ひらかた健康優良企業を対象とした企業対抗運動会の開催	継続	継続	健康づくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
健康経営に取り組む企業のさらなる増加に向け、引き続き関係機関・団体と協働で取り組んでいく	①地域・職域連携推進連絡会の開催、健康経営普及セミナー兼交流会を開催した ②関係機関・団体と連携し支援方法を検討した	①地域・職域連携推進連絡会、健康経営普及セミナー、企業への支援を実施した ②関係機関・団体と連携し支援方法を検討した ③企業対抗運動会を開催した			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【06_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

６．歯科口腔保健の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
成人期における歯周組織の健康の保持・増進、う蝕および喪失歯予防のため、20歳～70歳（５歳刻みの節目年齢）を対象に歯周病検診を実施。	・受診勧奨ハガキの送付や広報・SNSなどで広く周知 ・各種イベントなどでむし歯・歯周病予防について啓発 ・かかりつけ歯科医の重要性についての啓発	継続	・継続 ・歯周病検診の検診項目の変更	継続	健康づくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
20～30歳代の受診者は少ないため、引き続き受診勧奨の工夫が必要	受診勧奨はがきの送付やSNS発信、各種イベントなどでの周知に取り組んだ	若い世代向けの受診勧奨はがきの送付やSNS発信、各種イベントなどでの周知に取り組んだ			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【06_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

7. 健康増進計画等の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
健康寿命の延伸に向けて、令和６年度を始期とする高齢者福祉・健康増進施策に係る計画に基づき、高齢者保健福祉と健康づくりに効果的に取り組むとともに、胎児期から高齢期に至るまで、生涯を経時的に捉えた健康づくり（ライフコースアプローチ）を進める。	・各種イベントでの測定会やSNS発信などを実施し、健康づくりの取り組みについて啓発 ・生涯を通じた健康づくりに取り組むための情報提供方法を検討	継続	・継続 ・１か所の医療機関で保健指導をモデル実施 ・骨粗しょう症検診の実施	・継続 ・１か所の医療機関で保健指導を継続実施、検証	健康づくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
働く世代の健康づくりの取組が少ないことが課題。引き続きSNS等を活用し発信することや各種測定会などで啓発を行い、生涯を通じた健康づくりを推進していく。	SNS発信、イベント等での測定会・健康講座を実施した。	SNS発信、イベント等での測定会・健康講座を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【06_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
健康づくりに関する教室・講演会への参加者数	ウォーキングなど健康づくりに関する教室・講演会への参加者数	25,000	25,000	25,000	25,000	人	健康づくり課	-
各年度の実績		15,820	16,599			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 ウォーキングイベントや健康講座を実施し、課題である働く世代の参加者数が増加した。食育カーニバルのWeb閲覧数が減少しており、目標値の達成に至らなかった。								
【施策指標の分析 R7】 各種イベントに健康ブースを設けるなど、課題である働く世代の参加者を促すためアウトリーチを行った。								
特定健康診査受診率	高齢者の医療の確保に関する法律に定める特定健康診査の受診者／対象者（国民健康保険に加入する40歳以上75歳未満の者）	35.0	38.0	41.0	44.0	%	健康づくり課	-
各年度の実績		35.0	35.9			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和５年度と比較し、受診率が1.2ポイント向上した。							当該年度の法定報告(受診率の確定)が行われるのは次年度の10月頃となるため、表記の数値は前年度の実績となっている。	
【施策指標の分析 R7】 令和６年度と比較し、受診室が0.9ポイント向上した。引き続き、医師会と連携する等、受診率向上のための取組を進めていく。								
特定保健指導実施率	特定健康診査により特定保健指導の対象となった人への実施率	－	－	60.0	60.0	%	健康づくり課	-
各年度の実績		－	18.3			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和５年度と比較し、受診率が1.2ポイント向上した。								
【施策指標の分析 R7】 令和６年度の特定保健指導実施率は、19.8%であり、1.5ポイント下がった。保健指導の重要性の啓発や利用者の利便性を図る取組に努めていく。							当該年度の法定報告(特定保健指導実施率の確定)が行われるのは次年度の10月頃となるため、表記の数値は前年度の実績となっている。	

施策シート【06_01】－ 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
大腸がん検診受診率	市が実施する大腸がん検診の受診者／対象者（40歳以上70歳未満の者）	7.7	8.8	9.9	11.0	%	健康づくり課	１．がん対策の推進
各年度の実績		6.6	6.3			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 Ｒ６の受診率（40歳以上70歳未満）は6.６%と前年度より0.2ポイント上昇しているが目標値には届いておらず、更なる若い世代への勧奨が必要。								
【施策指標の分析 R7】 R7の受診率（40歳以上70歳未満）は、前年度より0.3ポイント下がった。次年度は大腸がん検診開始年齢へのクーポン券の送付、受診勧奨対象者の拡充を行い、対象者への周知啓発の機会を増やしていく。								
胃がん検診（内視鏡検査）の受診数の増加	胃がん検診（内視鏡検査）受診者数	－	－	3,000	3300	人	健康づくり課	１．がん対策の推進
各年度の実績		－	2,575			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 －								
【施策指標の分析 R7】 －							令和７年度に新規設定	

施策シート【06_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
特定健康診査の受診勧奨割合	特定健康診査の受診を勧奨した人数/対象者（未受診者）	100	100	100	100	%	健康づくり課	２．健康診査の効果的な受診勧奨
各年度の実績		100	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 すべての対象者に対して、はがきによる送付だけでなく、ショートメッセージサービスも活用することで効果的に受診勧奨をすることができた。								
【施策指標の分析 R7】 昨年度とは異なるはがきレイアウトや発信メッセージを作成する等、より工夫したはがきの送付やショートメッセージサービスの発信を行い、すべての対象者に受診勧奨をすることができた。								

施策シート【06_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
PHRの活用についての認知度	アンケートを実施し、質問「PHRの活用について知っている」と回答した人の割合	5	70	75	80	%	健康づくり課	３．個人健康記録（PHR）を活用した健康相談
各年度の実績		65.3	59.9			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 マイナンバーカードの普及が進み、同カードに紐づけられるマイナポータルで健診や病院受診履歴などのPHRについて確認できることを知っていると回答した割合が６割を超えていた。知っていて使ったことがある割合は21.2%のため、引き続き周知していく。								
【施策指標の分析 R7】 スマホアンケートにてマイナポータルで健診や病院受診履歴などのPHRについて確認できることを知っていると回答した割合は昨年より減少していたが、知っていて使ったことがある割合は昨年同様21.2%だった。引き続き啓発に努める。								
PHRを活用した健康相談件数	個人健康記録（PHR）を活用した健康相談件数	2	3	4	5	件	健康づくり課	３．個人健康記録（PHR）を活用した健康相談
各年度の実績		1	1			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 健康相談の利用者は高齢者が多いため、PHRの活用までは至りにくい現状がある。PHRの活用についての周知は継続していく必要がある。								
【施策指標の分析 R7】 健康相談の利用者は高齢者が多いため、PHRの活用までは至りにくい現状がある。継続してマイナポータルについて周知していく。								

施策シート【06_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
健康パッケージ提供数	スポーツ協会が市内企業へ提供したオーダーメイドプログラム（健康パッケージ）の提供数	47	120	125	130	件	スポーツ振興課	４．健康スポーツの普及
各年度の実績		115	102			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 企業の健康経営の関心の高まりもあり、オーダーメイドプログラムの提供数が増加となった。								
【施策指標の分析 R7】 プログラム開催日と企業の休業日等が重なったことが影響し、昨年度と比較して開催件数が減少したため、目標数値には至らなかった。								
健康スポーツイベント等の参加者数	補助事業で実施された各事業の参加者数	9,200	11,800	11,900	12,000	人	スポーツ振興課	４．健康スポーツの普及
各年度の実績		11,707	10,128			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 大企業へのプログラム提供を行ったことにより、参加者数の大幅な増加となった。市民の健康意識の高まりや企業の健康経営®への関心の高まりが参加者数の増加となった。								
【施策指標の分析 R7】 健康経営関係の参加者が増加した一方、市民向け教室は、猛暑の影響で夏場に減少し、秋になっても参加者数が回復せず、目標数値には至らなかった。								

施策シート【06_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
週1日以上スポーツに取り組む成人の割合 週3日以上スポーツに取り組む成人の割合	アンケートにおける普段のスポーツの実施状況において ①「週に１～２日以上」と回答した割合 ②「週に３日以上」と回答した割合	－	－	－	①50 ②25	%	スポーツ振興課	枚方市スポーツ推進計画
各年度の実績		－	－			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和６年度は市民アンケートを実施していないため、指標の把握を行っていない。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度は市民アンケートを実施していないため、指標の把握を行っていない。								

施策シート【06_01】－ 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
従業員の健康づくりに取り組む企業数（累計）	①企業への支援数 ②協会けんぽへの「健康宣言」を提出する市内企業数（累計） ③市内の健康経営優良法人認定数	①3,600 ②165	①5,100 ②195 ③52	①10,000 ②225 ③57	①11,000 ②255 ③60	①回 ②企業 ③企業	健康づくり課	5．健康経営の促進
各年度の実績		①4,993 ②129 （③51）	①9,872 ②139 ③55			①回 ②企業 ③企業	備考	
【施策指標の分析 R6】 市内企業が従業員の健康づくりに取り組みやすくなるよう、健康講座や情報提供などによる支援を行った。健康宣言を提出済の企業への取組支援は増加しているが、市内企業の健康経営に関する認識はまだまだ低く、健康宣言の提出数が増加しなかった。市内企業に向けたさらなる啓発が必要。								
【施策指標の分析 R7】 市内企業が従業員の健康づくりに取り組みやすくなるよう、健康講座や積極的な情報提供などによる支援を行った。								

施策シート【06_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
歯周病検診の要治療者の受診率	健診結果で要治療者（治療が必要な人）が、重症化予防のために治療を受けた人の割合。 【算出式：要治療者のうち受診した人数／要治療者数】	92	92	92	92	%	健康づくり課	6．歯科口腔保健の推進
各年度の実績		86.37	88.25			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和5年度の歯周病検診受診者の要治療者のうち、受診した人の割合は86.37%であった。今後も受診状況の把握に努めていく。							前年度の受診者の状況を当該年度にかけて追跡し結果を算出するため、当該年度の実績として示している数値は、前年度受診者の実績となっている。	
【施策指標の分析 R7】 歯周病検診受診者の要治療者のうち、受診した人の割合は前年度より1.88ポイント上昇した。今後も引き続き受診状況の把握、受診勧奨に努めていく。								
【施策指標の分析 R9】								

施策シート【06_01】－ 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
1日のうち2食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている人の割合	スマホアンケートにおいて、「朝食、昼食、夕食ごとに主食、主菜、副菜がそろっているか」について回答を得、「1 日のうち2 食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている」と回答した人の割合	58.7	59.8	60.8	61.8	%	健康づくり課	7．健康増進計画等の推進
各年度の実績		59	56.6			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 SNS配信やリーフレットの配付、健康講座・イベント等にてバランスの良い食事と健康づくりの関連性について啓発した。								
【施策指標の分析 R7】 SNS配信やリーフレットの配付、健康講座・イベント等にてバランスの良い食事と健康づくりの関連性について啓発した。								
適正体重を維持している人	スマホアンケートにおいて、BMIを算出し59歳以下はBMI18.5以上25未満、60歳以上はBMI20.1以上25未満の人の割合を合算して算出	64.1	65.5	75	78	%	健康づくり課	7．健康増進計画等の推進
各年度の実績		64.9	72			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 適正体重に関して、コラムの配信や啓発グッズの配付を通して啓発したことで、割合が増えた。								
【施策指標の分析 R7】 適正体重に関して、コラムの配信や啓発グッズの配付を通して啓発したことで、割合が増えた。								
骨粗しょう症検診受診率	市が実施する骨粗しょう症検診の受診者／対象者（40・45・50・55・60・65・70歳の女性）	－	－	15	15	%	健康づくり課	7．健康増進計画等の推進
各年度の実績		－	－			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 －							令和７年度に新規設定	
【施策指標の分析 R7】 －								

施策シート【06_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
かかりつけ歯科医を有する人の割合	スマホアンケートにおいて、「かかりつけ歯科医がある」と回答した人の割合	77.1	90.4	91.2	92.0	%	健康づくり課	第2次枚方市歯科口腔保健計画
各年度の実績		89.3	91.1			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 スマホアンケートでは90%近くが、かかりつけ歯科医があると答えている。今後もアンケートを実施することでの啓発も行っていく。								
【施策指標の分析 R7】 スマホアンケートでは前年度より1.8ポイント上昇した91.1%が、かかりつけ歯科医があると答えている。今後も、アンケートを実施することでの啓発も行っていく。								

施策シート【06_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
コンソーシアム連携事業への参加者数	健康・医療に関わる市内団体により構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業への参加者数（会議を除く研修会・講習会への参加者数）	12,000	12,500	12,500	12,500	人	健康福祉政策課	-
各年度の実績		15,865	13,415			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、多くの市民が参加する講演会・研修等が実施でき、参加者数も増加した。								
【施策指標の分析 R7】 多くの市民が参加する講演会・研修等が実施できた。								

施策シート【06_01】－ 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進

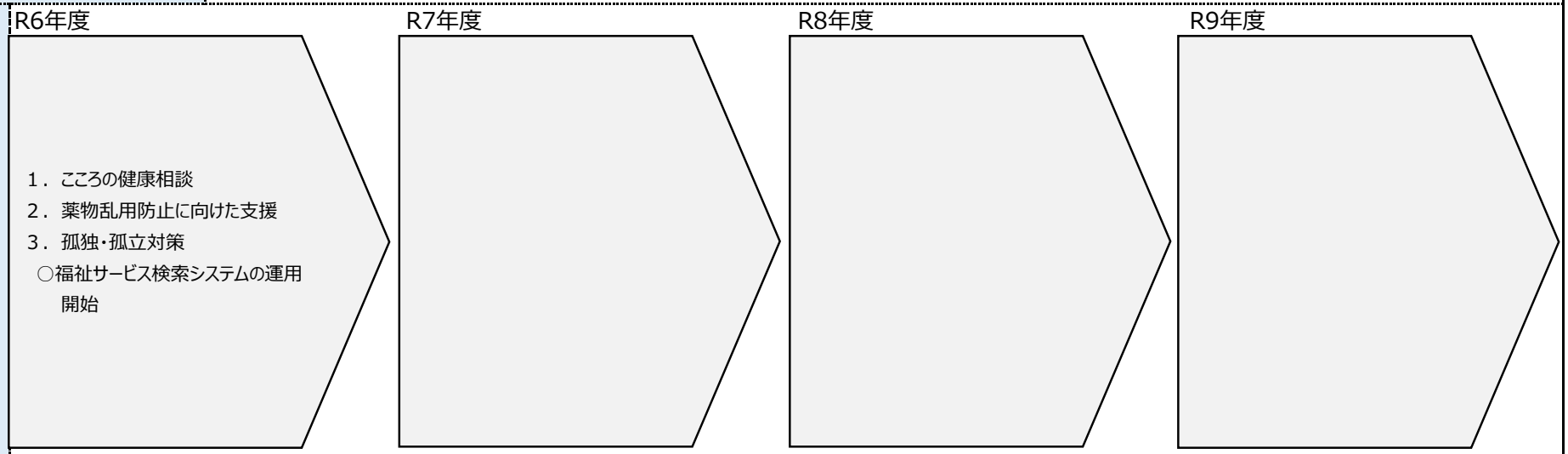
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
①運動教室・企業対抗運動会参加者数 ②企業対抗運動会参加者の運動を始める（または継続する）きっかけになったと答えた割合 ③企業対抗運動会参加者の適正体重を維持している者の割合	①運動教室・企業対抗運動会の参加者の延べ人数 ②参加者のうち、アンケートにて、「運動を始める（または継続する）きっかけになった」と答えた割合 ③参加者のうち、適正体重を維持している者の割合	－	①650 ②75 ③69.4	①1300 ②100 ③80	①1950 ②100 ③83	①人 ②% ③%	健康づくり課	5．健康経営の促進
各年度の実績		－	①528 ②98.6 ③77.4			①人 ②% ③%	備考	
【施策指標の分析 R6】 実施に向け、関係機関と調整を行った。								
【施策指標の分析 R7】 参加した方の運動のきっかけ作りにはなっていたが、運動教室の参加人数が少なかったため、開催時間や場所・方法について検討していく。								

施策シート【06_02】

健康福祉部、保健所

施策名称	**こころの健康の維持・増進**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち
めざす姿（主観的満足度）		心身ともに健康に暮らせる環境が整っている
概要	こころの病気の早期発見や早期対応に向けた取り組みを進める。	

計画期間中の実施予定時期



施策シート【06_02】ー 具体的な取り組み

健康福祉部、保健所

施策名称	こころの健康の維持・増進

１．こころの健康相談

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
うつ病などこころの病気について医療に係る相談を実施	電話および面接、訪問による相談支援	継続	継続	継続	保健医療課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
精神疾患に係る個別相談やそれに付随して医療機関との連絡調整を実施した。	電話、面接、訪問を実施。 日中に来庁することができない方に向け、夜間相談を実施。	電話、訪問、面接を実施。日中に来庁することができない方に向け、夜間相談を実施。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【06_02】ー 具体的な取り組み

健康福祉部、保健所

施策名称	こころの健康の維持・増進

２．薬物乱用防止に向けた支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
薬物乱用防止キャンペーンでの啓発資材の配布	市関連施設などにおいて、啓発資材を配布	継続	継続	継続	保健医療課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
来年度も継続。今般、府内において、若年層の薬物乱用が増加しており、当課主催の連絡会において不特定多数を対象とした啓発活動をするのではなく、若年層（市内44小学校、19中学校、11高等学校及び5大学）を対象とした啓発資材配付とすべきである旨のご意見をいただいたことを踏まえ、次期基本計画では、指標を配付実施率へ変更する予定。	市関連施設などにおいて、啓発資材を3200部配布した。	市関連施設などにおいて、啓発資材を3200部配布した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【06_02】ー 具体的な取り組み

健康福祉部、保健所

施策名称	こころの健康の維持・増進

３．孤独・孤立対策

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
日常生活もしくは社会生活において孤独を覚えることにより、心身に有害な影響を受けている状態にある者が必要とする支援を実施。	福祉サービス検索システムの運用開始	継続	継続	継続	健康福祉総合相談課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
次年度も枚方市孤独・孤立対策推進本部・幹事会を開催するとともに研修を実施し、庁内理解を深めるとともに、福祉サービス検索システムの利用状況から新規施策の展開や既存事業の充実など取り組みを推進する。	Ｒ６年４月に福祉サービス検索システム「枚方市版お悩みハンドブック」の運用を開始した。また、当該システム等の利用者のうち、検索結果を確認・相談できた人の割合は69.8%で目標値の50%を上回る結果となった。	昨年度に引き続き推進本部・幹事会の開催、研修会の実施など孤独・孤立対策の推進に向けた検討を行った。また、「枚方市版お悩みハンドブック」周知については、市民向けにSNS発信や他のイベントでの啓発に努めたほか、支援機関や民生委員児童委員などの地域関係者への説明を行い、当該システム等の利用者のうち、検索結果を確認・相談できた人の割合は65.3%で目標値は上回らなかった。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【06_02】ー 施策指標

健康福祉部、保健所

施策名称	こころの健康の維持・増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
こころの健康相談の相談件数	うつ病などこころの病気について医療に係る相談を実施するこころの健康相談件数	5,000	4,900	4,800	4,700	件	保健医療課	1．こころの健康相談
各年度の実績		4,963	3,784			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 相談件数の減少を目指しているわけではなく、相談が必要な方を取りこぼさないようにする。日中に来庁できない方へWEBで申し込みを受付け、夜間帯に相談を実施する工夫をした。								
【施策指標の分析 R7】 相談件数の減少を目指しているわけではなく、相談が必要な方を取りこぼさないようにする。日中に来庁できない方の相談の申し込みを受付け、夜間帯に相談を実施する工夫をした。 相談件数の減少の要因として、相談員の欠員により、対応可能数が減少したことによるものと判断している。								

施策シート【06_02】ー 施策指標

健康福祉部、保健所

施策名称	こころの健康の維持・増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
薬物乱用防止に向けた支援件数（累計）	薬物乱用防止キャンペーンでの啓発資材の配布数（累計）	16,000	23,600	26,100	28,600	件	保健医療課	2．薬物乱用防止に向けた支援
各年度の実績		21,100	24,300			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 市関連施設のほか、枚方市保健所公衆衛生協力会会員施設の協力があり、より多くの場所で啓発資材を配布することができた。								
【施策指標の分析 R7】 市関連施設のほか、枚方市保健所公衆衛生協力会会員施設の協力があり、より多くの場所で啓発資材を配布することができた。								

施策シート【06_02】ー 施策指標

健康福祉部、保健所

施策名称	こころの健康の維持・増進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
自殺死亡率	人口10万人あたりの自殺者数	11	11	11	11	人／人口10万	保健医療課	枚方市いのち支える行動計画（自殺対策計画）
各年度の実績		13.7	9.74			人／人口10万	備考	
【施策指標の分析 R6】 職員向けゲートキーパー養成研修の開催回数を増やしたり、市民向けの心のサポーター養成研修を対面にて実施するなど、研修の開催方法を工夫した。また、いのちを支える相談窓口リーフレットを改訂したため、引き続き悩みを抱えた人が相談できる窓口について、周知啓発を行っていく。								
【施策指標の分析 R7】 職員向けにゲートキーパー養成研修や市民向けの心のサポーター養成研修を実施した。また、子ども若者に接する人に対して、精神科医によるコンサル会や相談会を実施した。いのちを支える相談窓口リーフレットの配布等、引き続き悩みを抱えた人が相談できる窓口について、周知啓発を行っていく。								

施策シート【06_02】ー 施策指標

健康福祉部、保健所

施策名称	こころの健康の維持・増進

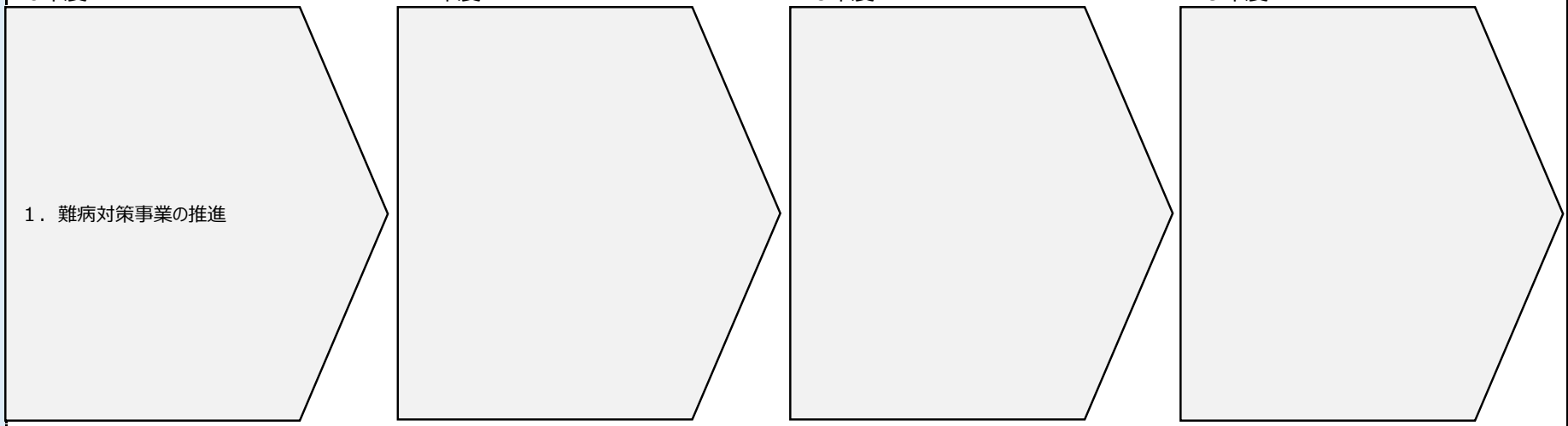
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
福祉サービス検索システムを利用した人のうち、支援やサービスにつながった割合、及び問題解決に向かった割合	どこに相談したらよいのかわからないなど、孤独・孤立の問題を抱える当事者や家族が、福祉サービス検索システムを利用した割合（システム等を利用した人の内、検索結果を確認したり相談できた人の割合）	50	70	70	70	%	健康福祉総合相談課	3．孤独・孤立対策
各年度の実績		69.8	65.3			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 Ｒ6年4月開始直後はお試しの利用者が多かったため、実績が目標を上回った可能性があり、次年度については新規及び継続した利用に向け、関係機関等への周知に努めていく。								
【施策指標の分析 R7】 昨年度の事業開始当初と比べ、利用者数が減少していることがわかったことから、年度後半にSNS発信や他のイベントでの啓発や関係機関等への周知を行ったが目標値の達成には至らなかった。引き続き周知に努めていく。								

施策シート【06_03】

保健所

施策名称	**難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくり**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち
めざす姿（主観的満足度）		心身ともに健康に暮らせる環境が整っている
概要		難病に対する理解を深めるとともに、医療や介護、福祉の連携を図りながら、難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。

計画期間中の実施予定時期



施策名称	難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくり

１．難病対策事業の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①保健師による申請時面接や訪問、リハビリ専門職等による専門相談の実施 ②難病患者に対する講演会や相談会を実施 ③難病患者やその家族に対する、相談、指導、助言等を行う支援スタッフの育成 ④人工呼吸器を使用する在宅難病患者等へのレスパイト入院費用の助成 ⑤医療機関等とのネットワークを構築	①保健師の面接・訪問、専門相談の実施 ②難病患者に対する講演会や相談会の実施 ③関係機関向け研修会の実施 ④レスパイト入院費用の助成 ⑤難病ネットワーク部会実務者会議の開催	継続	・継続 ・④レスパイト入院の利用上限日数を撤廃	継続	保健予防課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
人工呼吸器使用者等への災害時支援体制の構築に向け、引き続き訪問看護ステーション等の関係機関と連携して取り組みを進めていく。 レスパイト入院については、受け入れ先となる病院と連携し、利用に向けた支援を実施していく。	①新規・更新申請時に面接を実施し必要に応じ訪問等を実施。専門相談は年28回、働き方相談は年5回実施。 ②ALS患者の家族を対象に交流会を開催。 ③庁内関係課や訪問看護ステーションを対象に、災害時支援、コミュニケーション支援に関する研修会を開催。 ④対象者へ事業の周知を行い、申請者への費用助成を実施。 ⑤R7年2月難病ネットワーク部会実務者会議を開催し、子育て期のALS患者への支援等について、関係機関と意見交換を行った。	・保健師による新規・更新申請時の面接や訪問を実施。専門相談は年25回、働き方相談は年5回実施。 ・関係機関を対象に「難病患者支援における医療連携の推進」をテーマに研修会を開催。参加者55名。 ・レスパイト入院費用助成事業は、令和８年3月末現在で、実4名、延べ8件の申請。 ・R8年3月難病ネットワーク部会実務者会議を開催し、人工呼吸器使用者等のレスパイト入院について意見交換等を実施。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【06_03】ー 施策指標

保健所

施策名称	難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくり

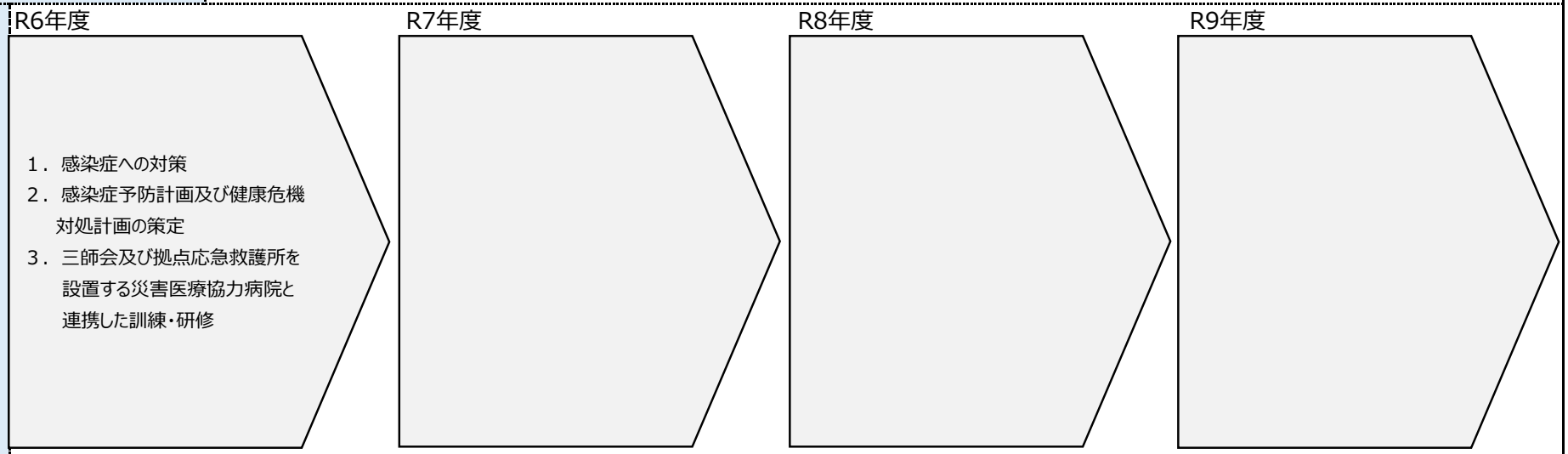
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
「療養生活について相談できる人がいる、または困っていることがない」と回答した割合	難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる人がいる、または困っていることがない」と回答した割合	95以上	95以上	95以上	95以上	%	保健予防課	1．難病対策事業の推進
各年度の実績		87.3	88.8			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 アンケート回収数3,059人のうち、「相談できる人がいる、または困っていることが無い」と答えた割合は2,670人であった。引き続き難病患者が安心して療養できるよう支援を継続していく。								
【施策指標の分析 R7】 アンケート回収数3,157人のうち、「相談できる人がいる、または困っていることが無い」と答えた割合は2,802人（88.8%）であり、昨年度より向上した。引き続き、申請時面接等により患者の療養状況を把握し、支援の実施に努める。								
指定難病医療費助成制度更新申請者の療養状況把握割合	療養状況を把握できた者の数／指定難病医療費助成制度更新申請者数	100	100	100	100	%	保健予防課	1．難病対策事業の推進
各年度の実績		82.7	84.6			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 更新申請者3,698人のうち、アンケート回収数は3,059人であった。								
【施策指標の分析 R7】 更新申請者3,730人のうち、アンケート回収数は3,157人（84.6%）であり、昨年度の回収率より向上した。引き続き、更新時面接時の療養状況の把握に努める。								
レスパイト支援を利用している人の割合（保健予防課所管の対象者のみ）	ショートステイ及びレスパイト入院を利用している人数／助成制度の対象者数	ー	40	50	50	%	保健予防課	1．難病対策事業の推進
各年度の実績		ー	46.8			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 ー								
【施策指標の分析 R7】 レスパイト入院費用助成事業の対象者数32人のうち、ショートステイまたはレスパイト入院を利用している人数は15人（46.8%）であった。今年度、新規に本事業を利用した患者もおり、引き続き、受け入れ病院と連携した支援に努める。							令和７年度に新規設定	

施策シート【07_01】

健康福祉部、保健所

施策名称	**健康に関する危機管理体制の充実**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち
めざす姿（主観的満足度）		心身ともに健康に暮らせる環境が整っている
概要		感染症の予防や拡大防止対策の強化、健康に関する危機管理体制の充実を図る。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【07_01】－ 具体的な取り組み

健康福祉部、保健所

施策名称	健康に関する危機管理体制の充実

１．感染症への対策

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
指定感染症（全数把握、定点把握）の発生情報の正確な把握と分析、その結果の迅速な提供・公開及び感染症についての正しい情報と知識を普及、適切な予防行動の確立	・結核のハイリスク層である高齢者へ向けた啓発を、関係機関との連携を図りながら実施。 ・事業連携協定に基づく塩野義製薬と連携協力した感染症対策。 ・ネットワーク会議等の機会を通じた医療機関との連携強化	継続	継続	継続	保健予防課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・結核については、罹患率低下したが、発見の遅れによる塗抹陽性罹患率が高いため、引き続き啓発に取り組む。 ・感染症ネットワーク会議において、引き続き、感染対策向上加算の届出がない病院や高齢者施設等への現地指導や研修会の開催の取り組みを推進する。	・高齢者結核の啓発用ちらしを作成し、関係機関を対象にちらしの配布や健康教育を実施。 ・連携協定において抗菌薬の適正使用に関するリーフレットを作成。 ・感染症ネットワーク会議で医療機関等へ研修会を実施。	・結核の早期診断のためのフローチャートを作成し医療機関へ配付。他事業の個別通知に結核のちらしを同封し高齢者へ啓発。 ・連携協定において大規模イベント時の感染症対策に関するリーフレットを作成し、イベント等で配付。 ・感染症ネットワーク会議で医療機関等へ研修会や現地指導を実施。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【07_01】－ 具体的な取り組み

健康福祉部、保健所

施策名称	健康に関する危機管理体制の充実

２．感染症予防計画及び健康危機対処計画の策定

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、感染症予防計画及び健康危機対処計画を令和５年度末に策定。令和６年度以降、当該計画に基づき、新興・再興感染症の対応をはじめ、災害が複合的に発生した場合にも対応できる管理体制を構築	・保健所の感染症有事体制に構成される人員等を対象に実践的訓練を実施 ・会議や研修・訓練等の機会を通じ、関係機関との情報共有や連携体制を強化	継続	継続	継続	健康福祉政策課、保健医療課、保健予防課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
新型インフルエンザ等の新興感染症の発生に備え、感染症指定医療機関である市立ひらかた病院とのスムーズな連携が行えるよう訓練を継続する必要がある。令和８年度は北河内圏域保健所とも連携した訓練を予定している。	・保健所職員に対する個人防護服着脱訓練、庁内保健師に対する積極的疫学調査研修を実施した。 ・枚方市感染症ネットワーク会議において、市内病院等を対象に研修会を開催し、また、感染症対応力向上のための連携体制を強化した。	・保健所職員に対する個人防護服着脱訓練、感染症発生時の初動対応等の訓練を実施。 ・令和７年11月に市立ひらかた病院と新型インフルエンザ患者を想定した患者移送訓練を実施。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【07_01】ー 具体的な取り組み

健康福祉部、保健所

施策名称	健康に関する危機管理体制の充実

３．三師会及び拠点応急救護所を設置する災害医療協力病院と連携した訓練･研修

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
災害医療体制の整備、医療連携の強化	災害医療対策会議連携訓練を実施	継続	継続	継続	健康福祉政策課、保健医療課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
災害時における医療救護体制の強化を図るため、継続して災害医療対策会議により災害医療等を検討するとともに、拠点応急救護所設営訓練等を行っていく。	災害医療対策会議連携訓練を実施するなど、災害医療体制の整備、医療連携の強化を推進	災害医療対策会議連携訓練の実施や通信網の再確認を行うなど、災害医療体制の整備、医療連携の強化を推進			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【07_01】ー 施策指標

健康福祉部、保健所

施策名称	健康に関する危機管理体制の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
結核の罹患率	１年間に新たに結核と診断された人数／総人口（人口10万対）	10以下	10以下	10以下	10以下	人	保健予防課	１．感染症への対策
各年度の実績		8	7			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 新登録患者数が増加したため罹患率が上昇したが、低まん延の指標である10以下の数値は達成できた。今後も早期発見、早期治療により感染拡大しないよう医療機関等に結核に関する啓発を行っていく。								
【施策指標の分析 R7】 罹患率は指標を下回ることができたが、健診の長期未受診、発見の遅れ等による塗抹陽性患者の割合が高い。早期発見、早期治療のために市民や医療機関等への効果的な啓発方法の検討が必要である。								

施策シート【07_01】ー 施策指標

健康福祉部、保健所

施策名称	健康に関する危機管理体制の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
1歳までにＢＣＧ接種を終了している者の割合	結核を予防するＢＣＧワクチンを1歳までに接種した児の数／0歳の人口	95.0	95.0	95.0	95.0	%	保健予防課	-
各年度の実績		96.9	96.1			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 適切に疾病を予防し、公衆衛生の向上・健康増進が図られるよう予防接種事業を実施することができた。								
【施策指標の分析 R7】 適切に疾病を予防し、公衆衛生の向上・健康増進が図られるよう予防接種事業を実施することができた。							接種した児の数2256人／０歳の人口2348人	
収去検査における違反・不適件数	食品衛生及び生活衛生に関する立入・収去検査において違反・不適であった件数	0	0	0	0	件	保健衛生課	-
各年度の実績		2	1			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 食品衛生については、令和６年度枚方市食品衛生監視指導計画に基づき立入・収去検査を実施し、違反・不適はなかった。生活衛生については、令和6年度家庭用品試買調査において違反が１件、及び遊泳場におけるレジオネラ検査において違反が１件あった。								
【施策指標の分析 R7】 食品衛生については、令和７年度枚方市食品衛生監視指導計画に基づき立入・収去検査を実施し、違反・不適はなかった。生活衛生については、令和7年度家庭用品試買調査では違反はなく、レジオネラ検査においては、遊泳場では違反がなかったが、公衆浴場では違反が１件あった。								

施策シート【07_01】ー 施策指標

健康福祉部、保健所

施策名称	健康に関する危機管理体制の充実

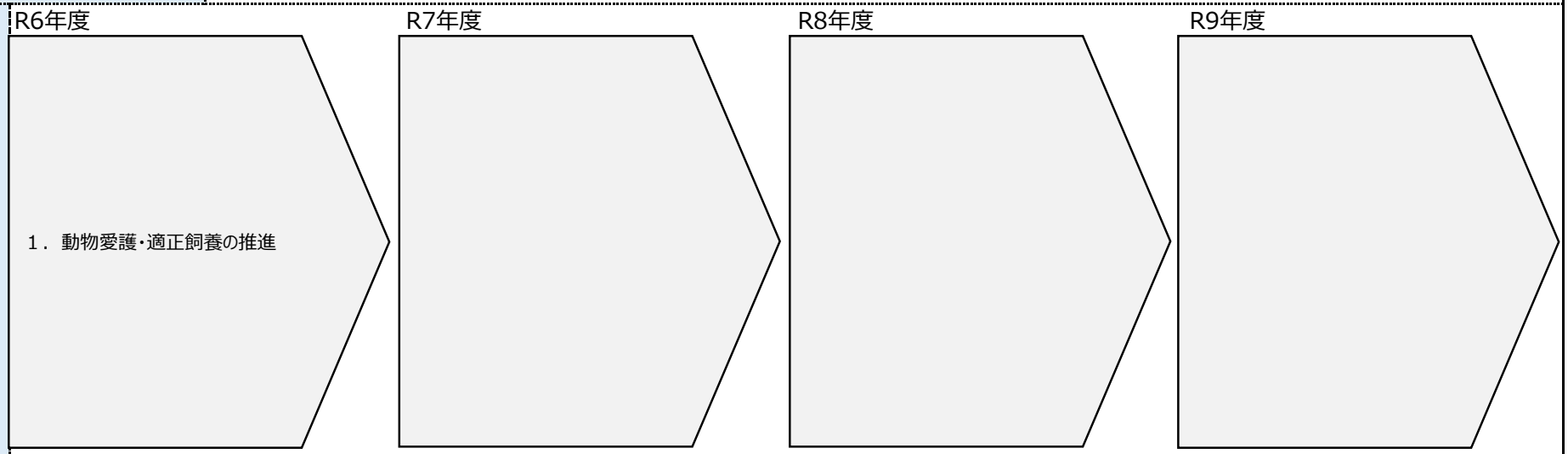
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
MR１期（麻しん・風しん含む）の接種率	対象者が定期A類予防接種を受ける 【算出式：接種者数／対象者数】	95	95	95	95	%	保健予防課	-
各年度の実績		89.8	93.5			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 適切に疾病を予防し、公衆衛生の向上・健康増進が図られるよう予防接種事業を一定実施することができたが、さらなる接種率の向上に向け、積極勧奨・啓発を続ける。								
【施策指標の分析 R7】 適切に疾病を予防し、公衆衛生の向上・健康増進が図られるよう予防接種事業を一定実施することができたが、さらなる接種率の向上に向け、積極勧奨・啓発を続ける。							接種した児の数1974人／１歳の人口2534人	

施策シート【07_02】

保健所

施策名称	**人と動物の共生**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち
めざす姿（主観的満足度）		心身ともに健康に暮らせる環境が整っている
概要	人と動物の共生を推進するため、動物の愛護・適正飼養の推進を図る。	

計画期間中の実施予定時期



施策シート【07_02】ー 具体的な取り組み

保健所

施策名称	人と動物の共生

１．動物愛護･適正飼養の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
殺処分ゼロを継続するための適正飼養の啓発･指導、捕獲･収容またはやむを得ず飼い主から引き取った犬･猫の譲渡の促進	犬猫の収容等と譲渡を行うとともに、イベントや講習会の開催による適正飼養啓発、飼主への飼い方指導、猫不妊手術費補助金の交付により適正飼養を推進。	継続	継続	継続	保健衛生課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
動物愛護・適正飼養啓発をさらに推進するため従来の取組の改良および新たな取組の検討が必要。	新たな取組として、高齢者向けの啓発チラシの配布と、適正飼養啓発のポケットティッシュの配布を行った。また譲渡促進のため、遠方で飼養管理している譲渡動物を保健所で見られるようにタブレットを導入した。	高齢者のペット問題（多頭飼育、急な入院などにより世話ができなくなる等）についてさらなる周知啓発を図るため、ケアマネジャーにチラシを配布し高齢者への周知に協力を依頼した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【07_02】ー 施策指標

保健所

施策名称	人と動物の共生

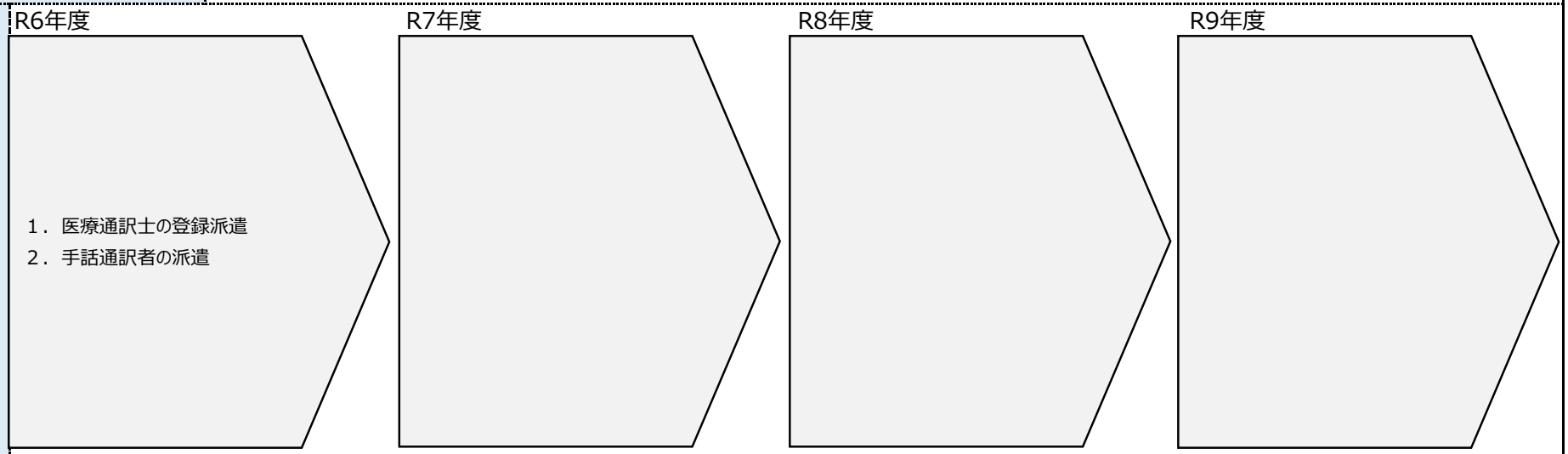
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
犬猫の譲渡・返還数割合	負傷(幼弱子猫含む)、飼い主からの引き取り、及び捕獲により収容等された犬猫のうち、譲渡・返還された割合。	75	80	87.5	87.5	%	保健衛生課	1．動物愛護・適正飼養の推進
各年度の実績		80.8	87.5			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 今年度は猫の譲渡が進んだため目標値を上回った。今後も譲渡が進むよう動物愛護・適正飼養啓発等に取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 今年度も猫の譲渡が進んだため目標値を上回った。今後も譲渡が進むよう動物愛護・適正飼養啓発等に取り組んでいく。								

施策シート【08_01】

健康福祉部、福祉事務所、市立ひらかた病院

施策名称	**医療体制の充実**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	8.安心して適切な医療が受けられるまち
めざす姿（主観的満足度）		安心して適切な医療が受けられる環境が整っている
概要	誰もが安心して医療を受けられるよう、地域医療の充実を図ります。	

計画期間中の実施予定時期



施策シート【08_01】－ 具体的な取り組み

健康福祉部、福祉事務所

施策名称	医療体制の充実

１．医療通訳士の登録派遣

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
日本語を話せない外国人住民等が、安心して市内の医療機関を利用できるとともに、コミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスクを軽減できるよう医療通訳士の養成と、医療機関への派遣を行う。	医療通訳士（医療通訳ボランティア）を派遣	継続	令和７年度末で廃止	－	健康福祉政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
コロナ禍以降、依頼件数が減少傾向にあるため、今後も引き続き動向を分析する。	医療通訳士の派遣依頼に対して388件の派遣を実施した。	医療通訳士の派遣依頼に対して377件（R8.3月時点）の派遣を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【08_01】ー 具体的な取り組み

健康福祉部、福祉事務所

施策名称	医療体制の充実

２．手話通訳者の派遣

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
手話通訳が必要な市内の聴覚障害のある方に手話通訳者の派遣を行う事業	手話通訳者を派遣	継続	継続	継続	障害企画課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
遠隔手話通訳サービスの制度もあるため目標件数としては下回っている。引き続き事業を実施していく。	手話通訳者の派遣を799件実施した。	手話通訳者の派遣を816件実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【08_01】ー 施策指標

健康福祉部、福祉事務所、市立ひらかた病院

施策名称	医療体制の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域医療機関から市立病院への紹介件数	地域医療機関からの市立病院への患者の紹介件数	9,850	9,900	9,950	10,000	件	医事課	-
各年度の実績		9,688	9,694			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 コロナ渦の影響で来院を控えた患者等の紹介件数が増えたことなどにより、目標程度の件数となった。 コロナ患者以外での更なる紹介件数の増加を図るため、引き続き地域の医療機関に「地域医療連携システム」の周知を行う。								
【施策指標の分析 R7】 地域医療機関への訪問活動計画に基づき、積極的な訪問など紹介件数の増加を図ったが、目標値を下回った。地域医療機関へのPRとともにニーズの把握に努め、引き続き断らない医療を推進する。								
北河内こども夜間救急センターから二次医療機関に後送した患者の入院率	北河内こども夜間救急センターから二次医療機関に後送し入院に至った患者数／後送された患者数	80.0	80.0	80.0	80.0	%	健康福祉政策課	-
各年度の実績		75.53	57.92			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 目標値を下回ったが、夜間の小児救急医療体制の確保に資することができたといえる。今後も適切な診断をするよう努める。								
【施策指標の分析 R7】 目標値を下回ったが、夜間の小児救急医療体制の確保に資することができたといえる。今後も適切な診断をするよう努める。								

施策シート【08_01】－ 施策指標

健康福祉部、福祉事務所、市立ひらかた病院

施策名称	医療体制の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
医療通訳士の利用件数	外国人住民等が市内対象医療機関を受診する際の医療通訳士の利用件数	500	500	令和７年度末で廃止	－	件	健康福祉政策課	１．医療通訳士の登録派遣
各年度の実績		388	377			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 依頼に対する派遣は問題なく実施できたが、コロナ禍以降、依頼件数が減少傾向にあるため、今後も引き続き動向を分析する必要がある。								
【施策指標の分析 R7】 依頼に対する派遣は問題なく実施できたが、前年度に比べると利用者数は減少した。								

施策シート【08_01】－ 施策指標

健康福祉部、福祉事務所、市立ひらかた病院

施策名称	医療体制の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
医療機関への手話通訳者の派遣件数	聴覚に障害のある方が医療機関を利用する際の手話通訳者の派遣件数	1,317	1,412	1,507	1,602	人	障害企画課	2．手話通訳者の派遣
各年度の実績		799	816			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 遠隔手話通訳サービスの制度もあるため目標件数としては下回っている。引き続き事業を実施していく。								
【施策指標の分析 R7】 遠隔手話通訳サービスの利用が多いこともあり、目標件数としては下回っている。引き続き事業を実施していく。								

施策シート【08_01】ー 施策指標

健康福祉部、福祉事務所、市立ひらかた病院

施策名称	医療体制の充実

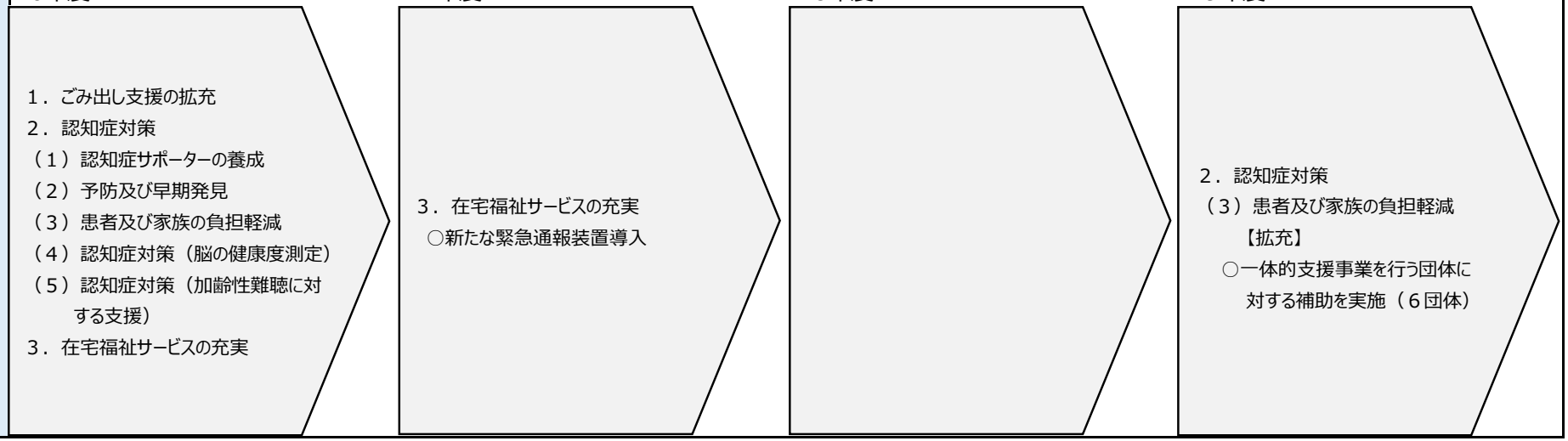
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
コンソーシアム連携事業への参加者数（再掲）	健康・医療に関わる市内団体により構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業への参加者数（会議を除く研修会・講習会への参加者数）	12,000	12,500	12,500	12,500	人	健康福祉政策課	-
各年度の実績		15,865	13,217			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、多くの市民が参加する講演会・研修等が実施でき、参加者数も増加した。								
【施策指標の分析 R7】 多くの市民が参加する講演会・研修等が実施できた。								

施策シート【09_01】

健康福祉部、市民生活部、環境部

施策名称	**高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち
めざす姿（主観的満足度）		高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている
概要		認知症予防の推進や相談体制の充実、住み慣れた地域で医療・介護が受けられる体制づくりを進める。

計画期間中の実施予定時期



施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

１．ごみ出し支援の拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ごみ出し支援である「ふれあいサポート収集」及び「大型ごみ持出しサポート収集」の利用要件を令和５年度に拡充したが、より市民ニーズに対応していくため、さらなる拡充を図る。 令和５年度の拡充内容 「ふれあいサポート収集」：対象要件を高齢者、障害者の単身世帯としていたが、単身世帯の要件を撤廃。（高齢者、障害者等で複数人世帯を対象に拡充。） 「大型ごみ持出しサポート収集」：対象とする世帯の構成を、高齢者、障害者に加えて、既存対象者と同一世帯に属する18歳未満の者を追加するとともに、大型ごみと同時に排出する場合に限り粗ごみも収集品目の対象に追加。	大型ごみ持出しサポート収集の利用要件拡充の検討（出産や骨折等の傷病を理由とした一時的なごみ排出困難者への対応検討）	大型ごみ持出しサポート収集の対象要件について、「75歳以上の者で構成される世帯」及び「障害者」などに加え、「妊産婦」、「骨折等の傷病により一時的に大型ごみの排出が困難な者」を要件に追加。	継続	継続	環境事業課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
「ふれあいサポート収集」、「大型ごみ持出しサポート収集」事業について、対象者の拡充に向けて、調査・研究を行う	「大型ごみ持出しサポート収集」について、調査・検討を行い、令和７年４月から「妊産婦」「骨折等の傷病」により一時的にごみの搬出が困難な方も対象となるよう要件の拡充に向けて整理を図った。	「大型ごみ持出しサポート収集」事業について、調査・検討を行い、令和８年４月より「65歳以上の方」が対象となるよう年齢要件の引き下げに向けて整理を図った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

２．（1）認知症対策（認知症サポーターの養成）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
認知症を正しく理解し見守るサポーターを養成。	認知症サポーター養成講座を開催	継続	継続	継続	健康福祉政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
市主催の講座について、以前はラポールひらかたのみで開催していたが、より身近な地域で参加していただけるよう、令和５年度より生涯学習市民センターでも開催している。参加者数が減少していることを踏まえ、実施場所や周知方法の検討などを行い、引き続き各地で開催する。	市主催による講座をラポールひらかたや生涯学習市民センターで５回開催したほか、キャラバン・メイトが地域等で講座を開催した。（参加者数1,328人）	市主催による講座をラポールひらかたや生涯学習市民センターで５回開催したほか、キャラバン・メイトが地域等で講座を開催した。（参加者数912人）			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

２．（２）認知症対策（予防及び早期発見）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・専門職が地域の取り組みの活動支援を行い、認知症を含めたフレイル予防を展開（ポピュレーションアプローチ）。本市独自のプログラムを使用した教室等を実施（ハイリスクアプローチ）。 ・認知症の早期発見・早期治療の契機として、「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」を活用。 ・認知症の人とその家族への適切な支援につなげるため、発症初期の段階で医療と介護の専門職によるチームが介入。	・「ひらかた脳活教室」等による切れ目のないつながりをもった取り組みを実施 ・検討した「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」の啓発活動の実施 ・認知症初期集中支援チームを８回発動し、専門職によるチーム支援を実施。	・ひらかた脳活教室等の切れ目のない、つながりをもった取り組みを継続。 ・「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」啓発の継続実施。 ・認知症初期集中支援チームを７回発動し、専門職によるチーム支援を実施。	継続	継続	健康づくり課、健康福祉政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・ひらかた脳活教室において、申込数の定員割れが生じていたため、申込方法のを増やし、より多くの方が参加申込をしやすいように事業展開を行う。 ・「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」が掲載されている認知症ケアパスの配布を進めることとで認知症の早期対応の啓発を引き続き行う。 ・認知症の人とその家族への適切な支援につなげるため、認知症初期集中支援チームの啓発を引き続き行う。	・枚方市を北部、中部、南部、東部の4ブロックに分け各ブロックの生涯学習市民センターで認知症予防の連続講座を開催し、91名の方が参加した。 ・「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」が掲載されたチラシを作成し、脳の健康度測定事業において対象者約13,000人に配布し、集団測定会の測定者には必須でチェックすることとした。 ・作成した初期集中支援チームの啓発資料による啓発を実施した。	・枚方市を北部、中部、南部、東部の4ブロックに分け各ブロックの生涯学習市民センターで認知症予防の連続講座を開催し、121名の方が参加した。 ・「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」が掲載されたチラシを作成し、脳の健康度測定事業において対象者約13,000人に配布し、集団測定会の測定者には必須でチェックすることとした。 ・作成した初期集中支援チームの啓発資料による啓発を実施した。			
年度ごとの達成状況	◯	◯			

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

２．（３）認知症対策（患者及び家族の負担軽減）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
本人と家族の関わり方を一体的に支援する団体に対して、運営に必要な費用の一部を補助。認知症の本人やその家族にとって安心して店舗やサービスを利用できる環境を推進。	・一体的支援事業を行う団体に対する補助を実施（３団体） ・「認知症バリアフリー宣言」の推進	・一体的支援事業を行う団体に対する補助を実施（４団体） ・「認知症バリアフリー宣言」の推進	・一体的支援事業を行う団体に対する補助を実施（５団体） ・「認知症バリアフリー宣言」の推進	・一体的支援事業を行う団体に対する補助を実施（６団体） ・「認知症バリアフリー宣言」の推進	健康福祉政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
本人と家族への一体的な支援については、実施団体が運営している認知症カフェを活用して支援を行っている実態を踏まえ、引き継ぎ支援を行っていく。 企業や団体の取組を推進し、認知症バリアフリー社会の機運を醸成する。引き続き、ホームページの掲載やSNSの発信等で普及啓発に取り組む。	・一体的支援事業を行う団体に対する補助を実施（0団体） ・管内の企業が基本法の趣旨を踏まえ、認知症の人や家族等への理解を深めるための勉強会（健康づくり課所管）を開催した。	・一体的支援事業を行う団体に対する補助を実施（0団体） ・管内の企業に、「認知症バリアフリー宣言」に関する各店舗への業種別個別説明および認知症サポーター養成講座等の周知啓発を実施した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

２．（４）認知症対策（脳の健康度測定）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
デジタル技術を活用した脳の健康度測定を実施し、自身の脳の健康に関心をもつきっかけづくりとするとともに、認知機能低下が疑われる方を把握し、介護予防事業への案内や地域・医療資源等へとつなぐことにより、認知症及び軽度の認知機能障害の予防、早期対応を推進。	・二次元コードの郵送による個別測定の実施 ・集団測定の実施 ・結果分析	継続 ・大阪府精神医療センターによる認知症予防講座「こころとからだ生き生き教室」を開催	継続	継続	健康福祉政策課、健康づくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
脳の健康度測定をきっかけとした啓発活動を進めるとともに、実施された方に対し、介護予防事業への案内等を行う。	・郵送による個別測定では約1,500人が実施。 ・集団測定では約400人が実施。	・郵送による個別測定では約1,600人が実施。 ・集団測定では約400人が実施。 ・こころとからだ生き生き教室に50名参加。			
年度ごとの達成状況	◯	◯			

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

２．（５）認知症対策（加齢性難聴に対する支援）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
高齢者の認知症予防や日常生活の質の向上を図るため、加齢に伴う難聴について、補聴器の購入を補助。	・補助金要綱確定 ・購入費補助の実施 令和6年10月から事業開始	・補助金要綱改定 ・購入費補助の継続実施	継続	継続	健康福祉総合相談課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
令和７年度の補助金要綱改定を受け、次年度も申請者数の増加が見込まれることから、予算の確保が必要。	令和6年10月から事業開始。補聴器購入費を45件補助。	令和７年11月から課税非課税世帯を問わず制度を利用できるよう、補助金要綱を改定し、補聴器購入費を246件補助した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【09_01】ー 具体的な取り組み

健康福祉部、環境部

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

３．在宅福祉サービスの充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ひとり暮らし等で身体に負担のある高齢者の居宅に緊急通報装置を設置し、急病などに対する緊急時の対応や、日常時の健康相談に応じ、不安感の解消を図っている。 現在の装置は固定電話回線に接続しているが、固定電話回線の廃止やＩＰ電話等で装置が設置できない高齢者への対策を検討する。	緊急通報装置の在り方について検討	新たな緊急通報装置導入	実施	実施	健康福祉総合相談課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
現時点で、直接消防組合につながる製品がなく、あわせて導入にあたっては利用者負担の大幅な増加が懸念されるため、多角的な見極めが必要な状況。引き続き、緊急通報方法の調査を進め、仕組みづくりの構築に向け取り組む。	今後の事業検討スケジュールを決定し、令和7年度中に新たな見守りサービスの内容決定、令和8年度から新たなサービスを実施。	緊急通報装置のモバイル型導入に向け、類似製品の比較も含め検討を重ねた。また、令和８年度から一般財源として予算計上するとともに、当該事業を企業版ふるさと納税のメニューに追加するなど、安定した財源確保に努めた。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【09_01】ー 施策指標

健康福祉部、環境部

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
介護保険給付に占める在宅サービスの割合	居宅サービス及び地域密着型サービス給付費合計／介護保険給付費	73.0	73.5	73.7	73.7	%	介護認定給付課	-
各年度の実績		71.9	72.4			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 第９期計画においても、在宅介護の限界点を引き上げるのに有効なサービスとして、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の整備を見込んでおり、目標達成に向けて取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 第９期介護保険事業計画（R6～R8）においても、在宅介護の限界点を引き上げるのに有効なサービスとして、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の整備を見込んでおり、目標達成に向けて取り組んでいく。								
介護保険施設等の施設数	特別養護老人ホームなど介護保険施設等の数	102	105	108	108	施設	健康福祉政策課	-
各年度の実績		102	105			施設	備考	
【施策指標の分析 R6】 第８期介護保険事業計画（R3～R5）において見込んだ施設のうち、令和６年度に地域密着型特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護、認知症高齢者グループホーム各１施設開設し、指標通りの実績となった。 令和６年３月に策定した第９期計画では、新たに介護医療院１か所、地域密着型特養１か所、小規模多機能型居宅介護１か所、看護小規模多機能型居宅介護１か所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護２か所の計６か所の施設整備を計画しており、令和８年度の目標達成に向けて取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 第９期介護保険事業計画（R6～R8）において見込んだ施設のうち、令和７年度に介護医療院１か所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護２か所を開設し、指標通りの実績となった。								

施策シート【09_01】ー 施策指標

健康福祉部、環境部

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
認知症サポーター養成講座の参加者数（累計）	認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法を学ぶ認知症サポーター養成講座の参加者数（累計）	29,200	30,400	31,600	32,800	人	健康福祉政策課	２．（1）認知症対策（認知症サポーターの養成）
各年度の実績		30,039	30,951			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 市主催による講座を５回開催したほか、キャラバン・メイトが地域等で講座を開催し、令和６年度は1,328人（令和７年３月末時点見込み）の参加があった。								
【施策指標の分析 R7】 市主催による講座を５回開催したほか、キャラバン・メイトが地域等で講座を開催し、令和7年度は912人（令和７年３月末時点見込み）の参加があった。								

施策シート【09_01】ー 施策指標

健康福祉部、環境部

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
「ひらかた脳活教室」の参加者実人数	「ひらかた脳活教室」の参加者実人数	100	140	140	140	人	健康づくり課	２．（２）認知症対策（予防及び早期発見）
各年度の実績		91	121			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 市内全域での実施を目指し、4つの生涯学習市民センター等で実施したが、地域によっては通いにくさが影響したのか定員割れとなる場所もあった。また、申込方法に関しても往復はがきに限定していたことも影響していると考えられる。令和7年度からは申込方法を往復はがきから、Logoフォームや電話、FAXに変更し申込方法の幅を広げて対応するとともに、より参加しやすい場所での開催を検討する。								
【施策指標の分析 R7】 市内全域での実施を目指し、4つの生涯学習市民センター等で実施した。また、申込方法をLogoフォームや電話、FAXに変更し申込方法を拡充することで、申込人数の増加を図れた。引き続き、認知症の正しい理解や認知症予防についての普及啓発を継続していく。								
「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」の利用件数（累計）	「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」啓発の結果、チェックリストが行われた数	1,500	3,000	4,500	6,000	件	健康福祉政策課	２．（２）認知症対策（予防及び早期発見）
各年度の実績		3,593	4,046			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」については、ロゴフォームにて公開しており、誰もが容易にチェックできるようにしている。また、今年度より開始された「脳の健康度測定事業」における集団測定会においても、測定者はチェックリストを行うようにしており、実績値はその合計である。 引き継ぎ、チェックリストを活用し認知症の早期発見・早期治療の普及啓発を進めていく。								
【施策指標の分析 R7】 「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」については、ロゴフォームにて公開しており、誰もが容易にチェックできるようにしている。また、昨年度より実施している「脳の健康度測定事業」における集団測定会においても、測定者はチェックリストを行うようにしており、実績値はその合計である。 引き続きチェックリストを活用し、認知症の早期発見・早期治療の普及啓発を進めていく。								

施策シート【09_01】ー 施策指標

健康福祉部、環境部

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
一体的支援事業補助事業申請団体数	認知症一体的支援事業に取り組む団体に対して行う補助金事業の利用件数	3	4	5	6	件	健康福祉政策課	２．（３）認知症対策（患者及び家族の負担軽減）
各年度の実績		0	0			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 認知症一体的支援事業の登録団体は２団体となっている。制度の周知はしているものの申請はされていない状況である。引き継ぎ、周知等を行い申請があれば適切に補助金交付に向けた手続きを進める。								
【施策指標の分析 R7】 認知症一体的支援事業の登録団体は２団体となっている。制度の周知はしているものの申請はされていない状況である。引き続き周知等を行い、申請があれば適切に補助金交付に向けた手続きを進める。								
認知症理解に関して働きかけた店舗等(企業等)数(累計)	「認知症バリアフリー宣言」など認知症理解に関する周知を行った件数	3	100	200	400	件	健康福祉政策課	２．（３）認知症対策（患者及び家族の負担軽減）
各年度の実績		3	91			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 管内の企業が基本法の趣旨を踏まえ、認知症の人や家族等への理解を深めるための勉強会（健康づくり課所管）を開催し、その中で周知を図った。								
【施策指標の分析 R7】 飲食業、卸売業、小売業、生活関連サービス業、娯楽業等を対象に、「認知症バリアフリー宣言」に関する各店舗への業種別個別説明および認知症サポーター養成講座等の周知啓発、各事業所の理解度に応じた説明や聞き取り調査を行った。								

施策シート【09_01】－ 施策指標

健康福祉部、環境部

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
脳の健康度測定者数	①セルフチェック（対象者の15%から＋１%/年） ②集団測定（定員の100%）	①2,025人 ②500人	①2,160人 ②500人	①2,295人 ②500人	①2,430人 ②500人	件	健康福祉政策課	２．（４）認知症対策（脳の健康度測定）
各年度の実績		①1,531人 ②418人	①1,636人 ②410人			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 セルフチェックについては、対象者12,742人に対し、12.0%の実績値となった。集団測定会については、定員500名に対し462名の事前申込があり全員が測定可能となったものの、キャンセルにより実績値は定員に対し83.6%となっている。 広報ひらかたやホームページ、SNS発信、公共施設へのチラシの配架および部内のイベントにて声掛けは行っているものの、目標値に達していない状況である。 今後実施するにあたっては、セルフチェックや集団測定会の時期や期間を検討する必要がある。								
【施策指標の分析 R7】 セルフチェックについては、対象者12,611人に対し、13%の実績値となった。集団測定会については、定員500名に対し488名の事前申込があり全員が測定可能となったものの、キャンセルにより実績値は定員に対し82%となっている。 広報ひらかたやホームページ、SNS発信、公共施設へのチラシの配架および部内のイベントにて声掛けは行っているものの、目標値に達していない状況である。 今後実施するにあたっては、セルフチェックや集団測定会の時期や期間を検討する必要がある。								

施策シート【09_01】－ 施策指標

健康福祉部、環境部

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
補聴器購入費補助件数	補聴器購入費助成制度利用件数	-	252	395	395	件	健康福祉総合相談課	２．（５）認知症対策（加齢性難聴に対する支援）
各年度の実績		-	246			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 －								
【施策指標の分析 R7】 当初非課税世帯を補助対象としていたが、令和７年11月4日受付分より、課税世帯においても補助対象とした結果、252人へ補助を行った。								

施策シート【09_01】ー 施策指標

健康福祉部、環境部

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり

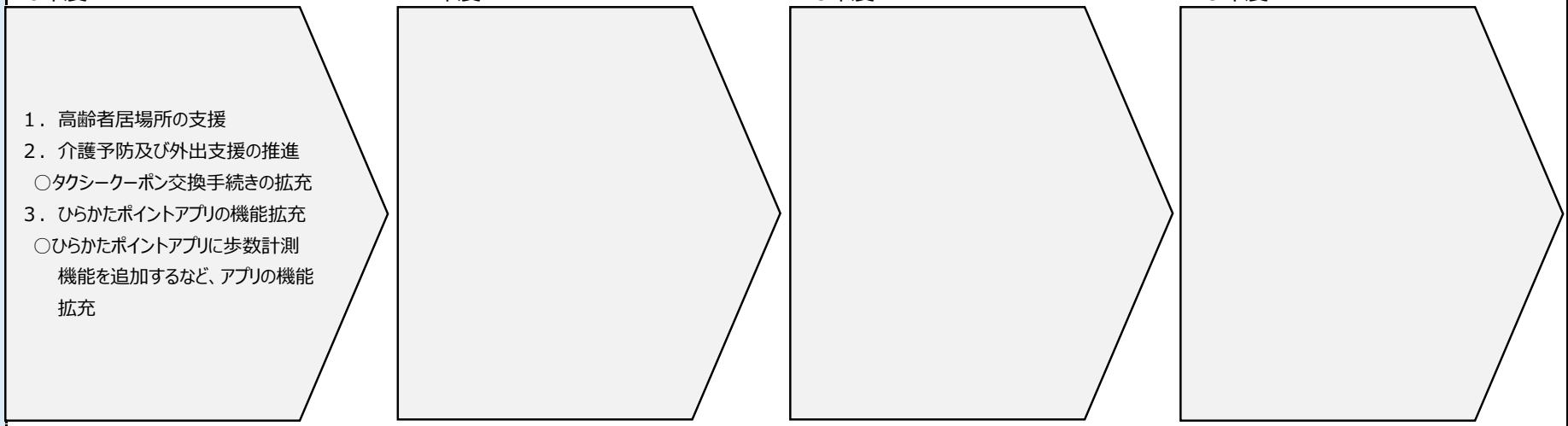
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数	地域ケア推進実務者連絡協議会、作業部会の開催件数	14	14	14	14	件	健康づくり課 健康福祉政策課	-
各年度の実績		13	15			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 多職種連携研究会12回、地域ケア推進実務者連絡協議会1回を実施した。 認知症初期集中検討部会については、日程調整が困難なため令和7年度早々に開催することとし、令和6年度は実績なし。								
【施策指標の分析 R7】 多職種連携検討部会12回、認知症初期集中支援チーム検討部会２回、地域ケア推進実務者連絡協議会１回開催した。また、市全域を対象としたMSWとケアマネジャーとの連携強化を図ることを目的とした研修会も実施した。								

施策シート【09_02】

健康福祉部

施策名称	**介護予防の推進**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち
めざす姿（主観的満足度）		高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている
概要		高齢者がいつまでも健康に生活できるよう、介護予防を推進する。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【09_02】－ 具体的な取り組み

健康福祉部

施策名称	介護予防の推進

１．高齢者居場所の支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
高齢者が自由に集い、交流することを通じて閉じこもり等を防ぎ、介護予防の促進を図るために、高齢者居場所などの集いの場の運営団体を支援。	・新たな介護予防拠点として実施する「街かど健康ステーション」を設置 ・高齢者居場所や街かどデイハウス等の通いの場の運営団体の支援方法を評価し、引き続き介護予防を推進	日常生活圏域に1か所設置（市内9か所から11か所に増設）	日常生活圏域に1か所設置（市内11か所から13か所に増設）	継続	健康づくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
「街かど健康ステーション」を市内9か所に設置することにより、身近な場所で介護予防につながる体操や趣味活動、ノルディックポール貸与、自主グループ活動や健康に関する相談等ができる場所を整備した。今後、この介護予防拠点の市民周知をさらに行い、参加者を増やしていく。また、今後、日常生活圏域に1か所設置を目指して増設していく。	街かど健康ステーションでの介護予防教室参加者が増加した。また、グループ組成も行われ、自ら介護予防に資する活動が徐々に増えてきた。	２か所に増設し、11の日常生活圏域に対応できるようになった。また、街かど健康ステーションの認知も徐々に広がり介護予防教室参加者が増加している			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【09_02】ー 具体的な取り組み

健康福祉部

施策名称	介護予防の推進

２．介護予防及び外出支援の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地域での介護予防や健康づくり事業に参加した市民に「ひらかたポイント」を付与。高齢者の外出機会の創出。	・タクシークーポン交換手続き方法の拡充検討・運用 ・ひらかたポイント利用場所の拡充検討	・ひらかたポイント利用場所の拡充検討	継続	継続	健康福祉政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
高齢者の外出機会を創出できる施策を検討し実行する。	・タクシークーポン交換の窓口受付は継続したうえで、８月よりWEB、電話での受付を開始。 ・ポイントの主な使用先である協力店について、廃業等で店舗数は減少したが、引き続き店舗数を増やす取り組みを行っていく。また、健康増進に寄与する市事業をポイント対象とするよう対象事業の拡充について検討を進めていく。	ポイントの主な使用先である協力店については、廃業等もあり、店舗数は横ばいであったが、ひらかたポイントアプリの機能を充実させたことにより、ひらかたポイントに参加する事業実施者が増加し、利用者がポイントを貯めることができる活用先が増加した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【09_02】－ 具体的な取り組み

健康福祉部

施策名称	介護予防の推進

３．ひらかたポイントアプリの機能拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
アプリに歩数計測機能を搭載するなど、市民が楽しみながら運動できる仕組みを構築。獲得したポイントの利便性を向上させることで市民の健康増進活動を促進。	・ひらかたポイントアプリに歩数計測機能を追加するなど、アプリの機能拡充 ・利便性の向上 ・利用者の拡充を推進 ・キャッシュレス決済ポイントへの交換を導入 ・カードからアプリへの移行推進	・アプリの機能拡充・利便性の向上 ・利用者の拡充を推進 ・カードからアプリへの移行推進	・利用者の拡充を推進 ・カードからアプリへの移行推進	継続	健康福祉政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
ひらかたポイントアプリの機能を拡充し、幅広い年代の利用者の拡充を推進し、市民の健康増進活動を促進する。	ひらかたポイントアプリに歩数計測機能を追加することで利便性の向上と利用者の拡充を図り、カードからアプリへの移行促進に寄与した。 キャッシュレス決済ポイントへの交換の導入については引き続き取組みを行っていく。	ひらかたポイントアプリに２つの新機能を追加し、アプリの魅力向上に努めたことにより、カードからアプリへの移行者を含め、アプリ利用者が増加した。 令和８年度から新たに２つの事業をひらかたポイントの対象事業とするなど、引き続き利用者の拡充を推進する取り組みを行っていく。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【09_02】ー 施策指標

健康福祉部

施策名称	介護予防の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
高齢者居場所など集いの場の参加率	活動実績を求める高齢者居場所と健康ステーション（街かどデイハウス事業）（仮）の延べ参加者数／高齢者人口	8.0	8.0	8.0	8.0	%	健康づくり課	1．高齢者居場所の支援
各年度の実績		6.79	7.53			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 新型コロナ等感染症予防対策による地域活動の自粛から復活しはじめた時期のため、目標値には達成しなかったが、令和5年度よりくらわんかウォーカーズやひらかた夢かなえるエクササイズや、趣味活動を行う新たな自主グループが増加（41か所）したことで、通いの場の参加率が0.05%増加した。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度の実績値は、見込値であり、６月中旬頃に確定する見込みである。令和７年度は市で登録する高齢者居場所が新規登録９件、廃止3件と増加傾向にあり、また、街かど健康ステーションが活動を支援する趣味活動を行う自主グループが４グループ増加したことから、参加機会の拡大が見込まれる。一方で担い手不足等の課題もあることから、参加率は概ね維持または緩やかな変動にとどまる可能性がある。今後も引き続き、運営支援等により参加率の安定的な向上を図る必要がある。								
市がサポートする自主グループの数	活動を把握し、継続をサポートするひらかた元気くらわんか体操実施グループ等の自主グループの数	510	550	590	630	グループ	健康づくり課	1．高齢者居場所の支援
各年度の実績		507	570			グループ	備考	
【施策指標の分析 R6】 自主グループの数は、くらわんかウォーカーズで前年度比35%以上の増加であり、ひらかた夢かなえるエクササイズ実践グループでも増加傾向であるが、目標は未達成となっている。今後も、自主グループ組成、支援を継続していく。								
【施策指標の分析 R7】 自主グループの数は増加傾向にあり、今後も自主グループ組成、支援を継続していく。								

施策シート【09_02】ー 施策指標

健康福祉部

施策名称	介護予防の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ひらかたポイントの使用件数	65歳以上のひらかたポイント使用件数	17,000	19,000	21,000	23,000	件	健康福祉政策課	２．介護予防及び外出支援の推進
各年度の実績		15,694	16,697			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 ポイント使用件数は増加はしているものの、ポイント付与件数がより増加傾向にある。ポイントを「使う」よりも「貯める」傾向にあることから、使用を促進するため、利用協力店の拡大、交換メニューの充実に向け取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 使用件数は増加しているが、依然ポイントを「貯める」傾向にある。ひらかたポイントアプリに２つの新機能を追加したが、貯めたポイントの使用を促進するため、引き続き利用協力店の拡大、交換メニューの充実に向け取り組んでいく。								

施策シート【09_02】ー 施策指標

施策名称	介護予防の推進

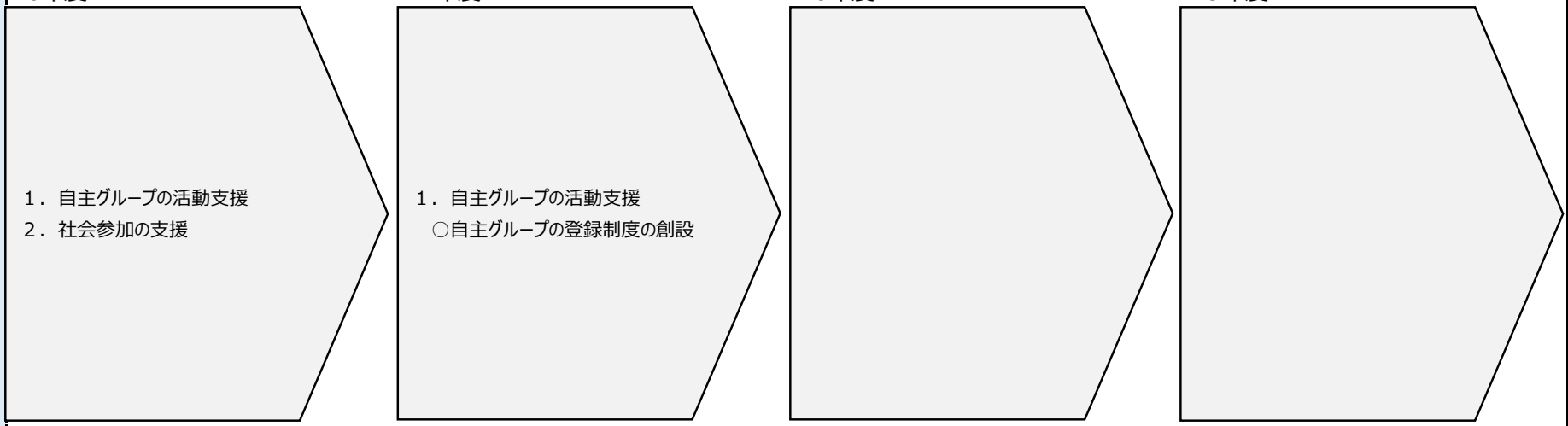
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ひらかたポイント利用者登録数	ひらかたポイント制度の利用者登録数（カード・アプリを含む）	75,000	80,000	85,000	90,000	人	健康福祉政策課	３．ひらかたポイントアプリの機能拡充
各年度の実績		78,251	83,565			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 利用者登録数は増加傾向にあり、アプリ利用者も増加している。引き続き、イベント等へのブース出展や制度周知に取り組み、新たな利用者登録の推進に取り組む。								
【施策指標の分析 R7】 利用者登録数は増加傾向にあり、アプリ利用者も増加している。引き続き、制度周知に取り組み、新たな利用者登録の推進に取り組む。								
ひらかたポイントアプリ利用者登録数	ひらポアプリの利用者登録数	28,000	33,000	38,000	43,000	人	健康福祉政策課	３．ひらかたポイントアプリの機能拡充
各年度の実績		30,642	37,006			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 ひらかたポイントアプリに歩数連携機能を追加し、アプリ利用者の増加に寄与した。新規利用者のアプリ利用促進と並行して、引き続き、カード利用者のアプリ移行を推進していく。								
【施策指標の分析 R7】 利用者登録数は増加傾向にあり、新規登録者のほとんどはアプリでの登録である。新規登録者の獲得と並行して、引き続きカード利用者のアプリ移行を推進していく。								
健康行動取組者数	健康増進に係る主な付与事業（1事業以上）参加者へのポイント付与人数	37,000	40,000	43,000	46,000	人	健康福祉政策課	３．ひらかたポイントアプリの機能拡充
各年度の実績		37,863	40,027			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 利用者登録数の増加に加え、１人あたりの付与事業への参加（健康行動取組）が増加したため、指標を大幅に上回った。延べ人数では、利用登録者数に対する健康行動取組率の伸び率が正しく図れないことから、利用者登録数における健康行動取組者数（実人数）に指標を変更する。								
【施策指標の分析 R7】 指標の数値は下回ったが、健康行動取組者数は増加傾向にあり、ウォーキング等の健康行動に取り組む利用者は定着してきている。健康行動への取り組みが習慣化されるよう、ひらかたポイント付与対象事業の拡充等、メニューの充実に取り組む。								

施策シート【09_03】

健康福祉部

施策名称	**高齢者の社会参加の促進**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち
めざす姿（主観的満足度）		高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている
概要		高齢者の技能・経験を活かせる活躍の場の確保など社会参加を促進する。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【09_03】ー 具体的な取り組み

健康福祉部

施策名称	高齢者の社会参加の促進				

１．自主グループの活動支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
健康無関心層をターゲットとして、趣味性の高いプログラムで「社会参加」のきっかけを提供。自主グループや支援組織と連携し、活動継続ができる仕組みを構築。	自主グループの登録・活動支援体制の構築に向けた検討（モデル実施）	自主グループの登録制度の創設により、継続的な活動を支援	継続	継続	健康づくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
令和6年度に新たに設置（9か所）した「街かど健康ステーション」にて、自主グループ活動の支援や活躍の場の提供を行った。活躍の場の提供としては、自主グループ活動の一環として、街かどデイハウスプログラムの講師として登壇できる場を設けるなどした。今後、市民周知をさらに行い、社会参加できる地域づくりを行っていく。	自主グループの活躍の場の提供や支援を受けられるように、街かど健康ステーションとの連携ができるよう情報提供を行った。	自主グループの登録数は微増であるが、登録した方に対する定期確認を行うことでグループ活動の継続支援を行えている。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【09_03】ー 具体的な取り組み

健康福祉部

施策名称	高齢者の社会参加の促進

２．社会参加の支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ひらかた生き生きマイレージについて、新任研修を開催するとともに、研修修了後のボランティア活動を希望するサポーター登録者について、活動の場とのマッチングを行い、活動を支援。また、すでに活動している者への現任研修を開催しながらモチベーションの維持に努める。さらに、老人クラブが遠方バスを借り上げ、外出や社会参加となる事業を実施する際に、当該バス借上げ費用の一部を補助する。	・新任研修を開催 ・研修修了後のボランティア活動を希望するサポーター登録者について、活動の場とのマッチング及び活動の支援	継続	・新任研修を開催 ・研修修了後のボランティア活動を希望するサポーター登録者について、活動の場とのマッチング及び活動の支援 ・補助金交付要綱の確定 ・補助金交付申請の受付開始	・新任研修を開催 ・研修修了後のボランティア活動を希望するサポーター登録者について、活動の場とのマッチング及び活動の支援 ・補助の実施	健康福祉政策課 健康づくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・新任研修の参加者増加に向けた取り組みとして、介護予防事業とあわせた周知を図っていく。 ・現任研修では、サポーター自身が健康で継続した活動ができるように、介護予防に関する情報提供の方法を検討していく。	・新任研修（3回）：参加者数23名 ・現任研修（3回）：参加者数168名	・新任研修（3回）：参加者数39名 ・現任研修（3回）：参加者数146名			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【09_03】ー 施策指標

健康福祉部

施策名称	高齢者の社会参加の促進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
高齢者居場所など集いの場の参加率【再掲】	活動実績を求める高齢者居場所と健康ステーション（街かどデイハウス事業）（仮）の延べ参加者／高齢者人口	8.0	8.0	8.0	8.0	%	健康づくり課	1．自主グループの活動支援
各年度の実績		6.87	7.53			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 新型コロナ等感染症予防対策による地域活動の自粛から復活しはじめた時期のため、目標値には達成しなかったが、令和5年度よりくらわんかウォーカーズやひらかた夢かなえるエクササイズや、趣味活動を行う新たな自主グループが増加（41か所）したことで、通いの場の参加率が0.87%増加した。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度の実績値は、見込値であり、６月中旬頃に確定する見込みである。令和７年度は市で登録する高齢者居場所が新規登録９件、廃止3件と増加傾向にあり、また、街かど健康ステーションが活動を支援する趣味活動を行う自主グループが４グループ増加したことから、参加機会の拡大が見込まれる。一方で担い手不足等の課題もあることから、参加率は概ね維持または緩やかな変動にとどまる可能性がある。今後も引き続き、運営支援等により参加率の安定的な向上を図る必要がある。								

施策シート【09_03】ー 施策指標

健康福祉部

施策名称	高齢者の社会参加の促進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ひらかた生き生きマイレージ（介護予防ポイント事業）による活動件数	ひらかた生き生きマイレージ事業において65歳以上の高齢者が介護保険施設等でサポーター活動を行う件数	1,000	1,500	2,250	3,375	件	健康づくり課	2．社会参加の支援
各年度の実績		1,296	1,698			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 登録施設及びサポーター活動者の数の増加に伴い、活動件数が前年度（826件）の約1.5倍増加した。								
【施策指標の分析 R7】 登録サポーターの活動件数は1,698件件である。新任者研修参加者は増加している一方、現任者研修参加者は減少している。また、新任・現任ともに研修参加にとどまり、実際の活動に結び付いていないケースが少なくない点が課題である。								
【施策指標の分析 R8】								
【施策指標の分析 R9】								
補助金交付実績	遠方バスを借り上げ、外出や社会参加となる事業を実施する際に、当該バス借上げ費用の一部に補助金を交付した老人クラブ数	―	―	ー	32	団体	健康福祉政策課	2．社会参加の支援
各年度の実績		―	―	ー		団体	備考	
【施策指標の分析 R6】								
【施策指標の分析 R7】								
老人クラブへの遠方バス借り上げ費用補助事業による地域活動への意欲変容	本事業参加者（一部抽出）へのアンケート調査において今後の外出への意欲につながった回答率	―	―	ー	80	%	健康福祉政策課	2．社会参加の支援
各年度の実績		―	―	ー		%	備考	
【施策指標の分析 R6】								
【施策指標の分析 R7】								

施策シート【10_01】

福祉事務所

施策名称	**社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち
めざす姿（主観的満足度）		障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている
概要		障害者の社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実を図る。

計画期間中の実施予定時期

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1．グループホームにおける重度障害者受入促進 2．くすの木園の跡地活用 3．地域生活支援のための体制整備 4．意思疎通支援の拡充 5．障害者歯科診療日数の拡充 6．補聴器購入補助の拡充 ○22歳到達年度末までの軽度難聴者（児）に対して補聴器等の扶助を実施	3．地域生活支援のための体制整備 ○体験の機会・場についての整備及び拠点コーディネーターの設置	3．地域生活支援のための体制整備 ○体験の機会・場のモデル事業を開始 7.人工内耳音声信号装置等にかかる費用助成の拡充 ○18歳から22歳到達年度末まで対象を拡充	

施策シート【10_01】ー 具体的な取り組み

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

１．グループホームにおける重度障害者受入促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
グループホームにおける重度障害者の受入を促進するため、重度障害者の受け入れを評価する補助金の交付。また事業所の人手不足解消のため、世話人養成研修、無料職業紹介所事業などを実施。	・グループホーム重度障害者対応改修補助金の見直し ・世話人養成研修 ・無料職業紹介所事業を実施	・見直し後の補助金の交付 ・世話人養成研修 ・無料職業紹介所事業を実施	継続	継続	障害企画課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
重度障害者の受け入れにかかる補助金の申請や無料職業紹介所への相談については、想定ほどの実績がなかった。引き続き制度の周知を図っていく。	重度障害者の受け入れにかかる補助金の申請や無料職業紹介所への相談については、想定ほどの実績がなかった。	重度障害者の受け入れにかかる補助金の申請や無料職業紹介所への相談については、想定ほどの実績がなかった。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【10_01】ー 具体的な取り組み

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

２．くすの木園の跡地活用

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
重度障害者グループホーム（地域生活支援拠点併設）の設置	敷地の土壌調査等を実施	運営法人の決定に向けた取り組み	事業所開設に向けた調整・建設工事	運用開始	障害企画課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
運営法人の決定や開設に向けた各種調整を行い、予定通りの運用開始を目指す。	土壌調査の結果、施設整備を阻害する要因は見つからなかった。	運営法人を決定した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【10_01】ー 具体的な取り組み

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

３．地域生活支援のための体制整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、障害者等の生活を地域全体で支える体制を構築するため、地域の実情に応じて必要な機能を整備。中心的な役割を担うコーディネーター(以下、「拠点コーディネーター」という)の配置。また、障害福祉団体が遠方バスを借り上げ、外出や社会参加となる事業を実施する際に、当該バス借上費用の一部を補助する。	・緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場についての整備 ・整備済の機能について、継続的に検証・検討	・体験の機会・場についての整備及び拠点コーディネーターの設置 ・整備済の機能について、継続的に検証・検討	・拠点コーディネーターの設置 ・整備済の機能について、継続的に検証・検討 ・体験の機会・場のモデル事業を開始 ・補助金交付要綱の確定 ・補助金交付申請の受付開始	・整備済の機能について、継続的に検証・検討 ・モデル事業を継続、検証のうえ、11年度の本格実施に向け、内容を検討 ・補助の実施	障害企画課 障害支援課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
地域生活支援拠点等の5つの機能の整備を進める中、コーディネーターについてはより柔軟に手法等を検討する。	緊急時の受け入れ・対応は整備済み。体験の機会・場は引き続き検討	・体験の機会・場についての整備及び拠点コーディネーターを配置するため、次年度当初予算化を行った。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【10_01】ー 具体的な取り組み

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

４．意思疎通支援の拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
コミュニケーションに困難を有する障害者が、入院する際に、現に利用している事業所の従事者をコミュニケーション支援員として派遣。	対象者要件を緩和	継続	継続	継続	障害企画課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き制度の周知を図り、利用希望者が制度活用できるよう周知を行う。	対象者の要件を緩和したものの、利用実績はなかった。	目標値は下回ったが、4件の利用があった。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【10_01】ー 具体的な取り組み

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

５．障害者歯科診療日数の拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
一般の歯科医療機関で診療が困難な障害者対象に枚方市歯科医師会が行っている歯科診療事業に対して、補助額を増額し診療日数を増やす。	同事業で一定治療後の受診者を引継ぎ(紹介）できる歯科医療機関の増加を図る	継続	継続	継続	障害企画課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き制度の周知を図り、利用希望者が制度活用できるよう周知を図る。	歯科診療事業の拡充により、利用者数が増加した。	事業利用者数は前年度より若干下回ったが、目標値は上回った。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【10_01】ー 具体的な取り組み

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

６．補聴器購入補助の拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
身体障害者手帳の交付対象とならない軽度難聴児に対する補聴器購入補助について、対象者を現在の18歳未満から22歳到達年度末まで拡充。	22歳到達年度末までの軽度難聴者（児）に対して補聴器等の扶助を実施	継続	継続	継続	障害企画課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
今年度より対象者の拡充し周知を実施したが、実績が挙がるには一定の時間を要すると考える。引き続き利用希望者が制度活用できるよう、周知を行う。	対象者の拡大を行ったものの、制度の利用には至らなかった。	拡充後の対象者の制度利用があった。引き続き利用希望者が制度活用できるよう、周知を行う。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【10_01】ー 具体的な取り組み

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

7.人工内耳音声信号装置等にかかる費用助成の拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
高度難聴児に対する人工内耳音声装置等にかかる費用の助成について、対象者を若者世代（22歳到達年度まで）に拡充	18歳までの高度難聴児を対象に実施	対象年齢の拡充を検討	18歳から22歳到達年度末まで対象を拡充	継続	障害企画課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
令和8年度より対象者の拡充した。今後利用希望者が制度活用できるよう、周知を行う。	ー	次年度より22歳到達年度末まで対象を拡充することを決定した。			令和７年度に新規設定
年度ごとの達成状況		◎			

施策シート【10_01】ー 施策指標

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
施設入所者の地域生活への移行	障害福祉計画の目標として掲げる施設入所者の地域生活への移行者数	3	3	2	2	人	障害企画課	枚方市障害福祉計画（第7期）
各年度の実績		3	3			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 目標数値を達成した。次年度以降も引き続き施策を継続していく。								
【施策指標の分析 R7】 目標数値を達成した。次年度以降も引き続き施策を継続していく。								

施策シート【10_01】ー 施策指標

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
移動支援利用時間	1年間の移動支援事業の利用者時間	221,423	243,566	267,922	294,714	時間	障害企画課	-
各年度の実績		179,671	172,977			時間	備考	
【施策指標の分析 R6】 新型コロナの5類移行後、利用者は徐々に増加しているものの、見込ほどの利用には至っていない。								
【施策指標の分析 R7】 利用者は徐々に増加しているものの、見込ほどの利用には至っていない。								

施策シート【10_01】ー 施策指標

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
障害者のグループホーム利用者数	障害者が地域で共同生活するグループホームの実利用者数　（一月あたり）	575	621	671	731	人	障害企画課	１．グループホームにおける重度障害者受入促進（枚方市障害福祉計画（第７期））
各年度の実績		526	576			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 目標値とほぼ同数の実績値となった。								
【施策指標の分析 R7】 利用者数は増加したが目標値は下回った。								

施策シート【10_01】ー 施策指標

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
整備済の機能の数	整備済の機能の数	4	5	5	5	機能	障害企画課	3．地域生活支援のための体制整備
各年度の実績		4	4			機能	備考	
【施策指標の分析 R6】 目標の数値を達成した。次年度目標の整備済機能数の達成を目標に、支援体制の整備を進めていく。								
【施策指標の分析 R7】 令和8年度より居室体験事業を開始することで目標値に達する見込み。								
居室体験利用人数	居室体験事業を利用した障害者の延べ人数	ー	ー	6	6	人	障害企画課	3．地域生活支援のための体制整備
各年度の実績		ー	ー			機能	備考	
【施策指標の分析 R6】 ー							令和７年度に新規設定	
【施策指標の分析 R7】 令和8年度より事業を開始する。								
補助金交付実績	遠方バスを借り上げ、外出や社会参加となる事業を実施する際に、当該バス借上げ費用の一部に補助金を交付した障害福祉団体数	―	―	ー	14	団体	障害支援課	3．地域生活支援のための体制整備
各年度の実績		―	―	ー		団体	備考	
【施策指標の分析 R6】								
【施策指標の分析 R7】								
障害福祉団体への遠方バス借り上げ費用補助事業による社会参加への意欲変容	本事業参加者（一部抽出）へのアンケート調査において今後の外出への意欲につながった回答率	―	―	ー	80	%	障害支援課	3．地域生活支援のための体制整備
各年度の実績		―	―	ー		%	備考	
【施策指標の分析 R6】								
【施策指標の分析 R7】								

施策シート【10_01】ー 施策指標

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
コミュニケーション支援員派遣数	1年間のコミュニケーション支援員を派遣した対象者数	6	11	11	11	人	障害企画課	４．意思疎通支援の拡充
各年度の実績		0	4			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 今年度より拡充し周知を実施したが、実績が挙がるには一定の時間を要すると考えます。								
【施策指標の分析 R7】 利用実績はあったものの、目標値には至っていない。引き続き事業の周知を行う。								

施策シート【10_01】ー 施策指標

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
障害者歯科診療件数	障害者歯科診療事業で1年間に受診した人数	1,008	1,008	1,130	1,140	人	障害企画課	5．障害者歯科診療日数の拡充
各年度の実績		1,039	1,120			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 見込を上回る実績となった。引き続き制度を必要する方の利用につながるよう、制度を継続的に運用していく。								
【施策指標の分析 R7】 見込を上回る実績となった。引き続き制度を必要する方の利用につながるよう、制度を継続的に運用していく。								
引継ぎ（紹介）が可能な歯科医療機関数	同事業で一定治療後の受診者を引継ぎ(紹介）できる歯科医療機関の増加を図る	7	9	11	13	か所	障害企画課	5．障害者歯科診療日数の拡充
各年度の実績		5	9			か所	備考	
【施策指標の分析 R6】 見込数値を達成することはできなかった。次年度以降も引継ぎ（紹介）可能な歯科医療機関の増加を図っていく。								
【施策指標の分析 R7】 見込数値を達成した。次年度以降も引継ぎ（紹介）可能な歯科医療機関の増加を図っていく。								

施策シート【10_01】ー 施策指標

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
18歳以上で補聴器購入費用補助の利用を申請した人数	身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中度難聴障害がある若者で補聴器等を申請した人数。	5	5	5	5	人	障害企画課	6．補聴器購入補助の拡充
各年度の実績		0	2			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 今年度より拡充し周知を実施したが、実績が挙がるには一定の時間を要すると考える。								
【施策指標の分析 R7】 見込数値を達成することはできなかった。次年度以降も引継ぎ制度の周知を図る。							令和７年度に新規設定	

施策シート【10_01】－ 施策指標

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実

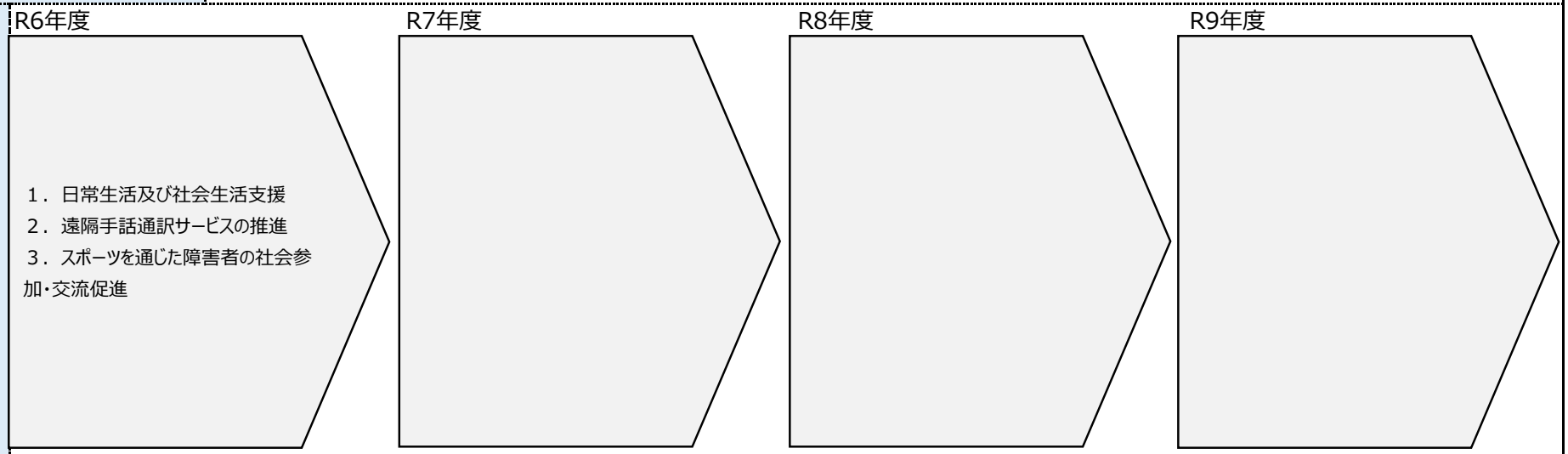
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
人工内耳音声信号装置等助成件数	人工内耳装置等にかかる費用を助成した人数	－	－	11	13	人	障害企画課	7.人工内耳音声信号装置等にかかる費用助成の拡充
各年度の実績		－	－			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 －								
【施策指標の分析 R7】 －							令和７年度に新規設定	

施策シート【10_02】

福祉事務所

施策名称	**障害への理解促進、地域との交流の場の提供**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち
めざす姿（主観的満足度）		障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている
概要		障害者への理解促進や地域との交流の場の提供を図る。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【10_02】ー 具体的な取り組み

福祉事務所

施策名称	障害への理解促進、地域との交流の場の提供

１．日常生活及び社会生活支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
障害者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会を提供。障害者の地域生活に必要な相談や情報提供の実施。	障害者の地域生活に必要な相談や情報提供を実施	継続	継続	継続	障害企画課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
新型コロナ過以降利用者の増加は鈍化傾向。引き続き施策を継続的に実施する。	障害者の地域生活に必要な相談や情報提供を実施した。	障害者の地域生活に必要な相談や情報提供を実施した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【10_02】ー 具体的な取り組み

福祉事務所

施策名称	障害への理解促進、地域との交流の場の提供

２．遠隔手話通訳サービスの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
本庁4か所、出先4か所でタブレット端末による遠隔手話通訳を実施。また、1年中外出先等からすぐ利用できる遠隔手話通訳サービスを委託により実施。	遠隔手話通訳サービスの利用勧奨を実施	継続	継続	継続	障害企画課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
利用件数は増加しているものの周知不足により、目標値を達成することができなかった。今後、利用者の増加に向け、広報への掲載など周知活動に取り組む。	遠隔手話通訳サービスの利用を推進した。	遠隔手話通訳サービスの利用を推進した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【10_02】ー 具体的な取り組み

福祉事務所

施策名称	障害への理解促進、地域との交流の場の提供

３．スポーツを通じた障害者の社会参加･交流促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ｅスポーツやウィルチェアスポーツの障害者社会参加促進事業スポーツ講習会の実施。	障害者がｅスポーツやウィルチェアスポーツ等に親しんでもらうための講習会を実施	継続	継続	継続	障害企画課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
デジタルサイネージ等、様々な方法で周知を行った。目標値を下回る参加者となったが、体調不良などによる当日キャンセルによるもの。申込についてはいずれの回も定員を上回っており、引き続き周知方法を工夫しながら、広く参加を呼び掛けていく。	障害者がｅスポーツやウィルチェアスポーツ等に親しんでもらうための講習会を実施した。	障害者がｅスポーツやウィルチェアスポーツ等に親しんでもらうための講習会を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【10_02】ー 施策指標

福祉事務所

施策名称	障害への理解促進、地域との交流の場の提供

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域活動支援センター事業の利用者数	障害者の日中活動や地域との交流の場である地域活動支援センターの利用者数	37,474	38,024	38,574	39,124	人	障害企画課	1．日常生活及び社会生活支援
各年度の実績		36,012	34,621			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 新型コロナの感染状況が落ち着くに伴い、利用件数が増加しつつある。								
【施策指標の分析 R7】 自立支援給付による日中活動系サービスの増加に伴い、利用件数は下降傾向にある。								

施策シート【10_02】ー 施策指標

福祉事務所

施策名称	障害への理解促進、地域との交流の場の提供

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
遠隔手話通訳サービスの利用件数	遠隔手話通訳サービスの１年間の延べ利用件数	665	684	703	722	件	障害企画課	２．遠隔手話通訳サービスの推進
各年度の実績		643	669			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 新型コロナの感染状況が落ち着くに伴い、利用件数が増加しつつあるものの利用件数は依然として目標値を下回っている。引き続き制度の継続的実施を行う。								
【施策指標の分析 R7】 利用者登録は、増加傾向にあるものの、目標値を下回る結果となりました。この状況を踏まえ、要因の分析を行うとともに引き続き制度の継続的実施と利用促進を図ります。								

施策シート【10_02】ー 施策指標

福祉事務所

施策名称	障害への理解促進、地域との交流の場の提供

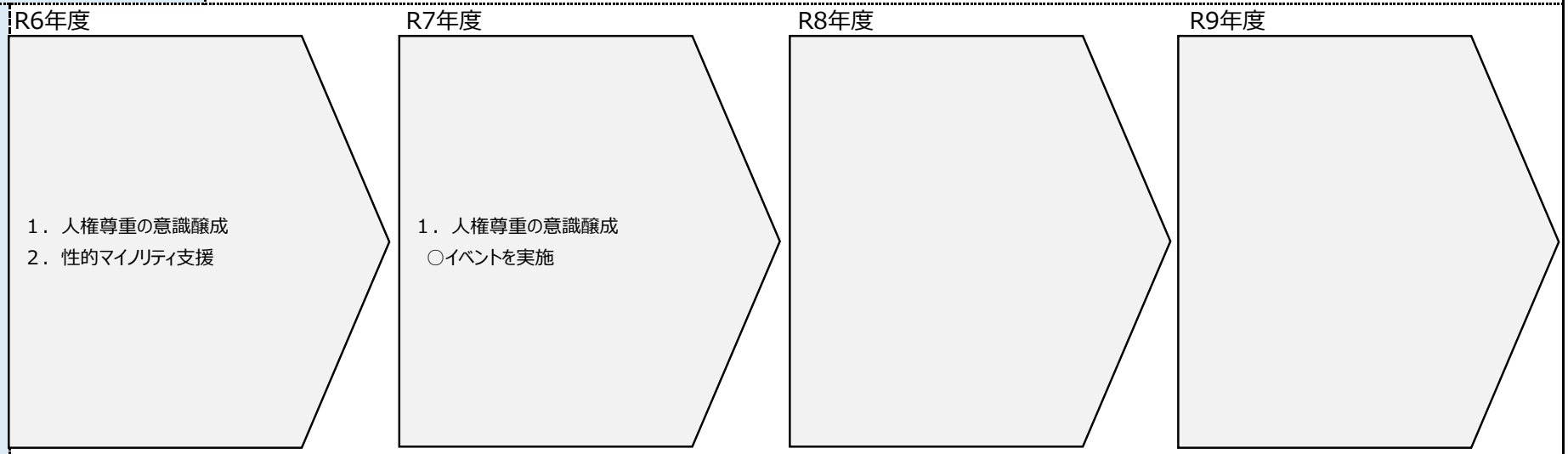
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
スポーツ講習会の参加人数	スポーツ講習会の１年間の延べ参加者数	60	60	60	60	人	障害企画課	３．スポーツを通じた障害者の社会参加・交流促進
各年度の実績		60	40			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 デジタルサイネージ等、様々な方法で周知を行った結果、見込通りの参加があった。引き続き周知方法を工夫しながら、広く参加を呼び掛けていく。								
【施策指標の分析 R7】 申し込み後のキャンセルが多く出た影響もあり、結果的に見込数値を達成することはできなかった。引き続き周知方法を工夫しながら、広く参加を呼び掛けていく。								

施策シート【11_01】

市長公室

施策名称	**人権教育・啓発の推進**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち
めざす姿（主観的満足度）		一人ひとりが人権を尊重し合えている
概要		すべての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権問題を正しく理解し、一人ひとりの個性や価値観を認め合えるよう、人権教育・啓発の推進を図る。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【11_01】ー 具体的な取り組み

市長公室

施策名称	人権教育・啓発の推進

１．人権尊重の意識醸成

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
令和５年度に見直しをおこなった「人権尊重のまちづくり条例」の理念に基いた、市民・事業所向け啓発の実施。 また、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会と連携した効果的な人権啓発の実施。	・条例理念の周知・啓発 ・市民対象の啓発イベント（講演会・映画会・講座等）を実施	条例理念に基づいた市民・事業所向け啓発イベントを実施	・継続	・継続	人権政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
人権尊重のまちづくり条例の理念を踏まえ、市民・事業者の役割や責務など条例の趣旨等を引き続き周知・啓発していく必要がある。	・広報ひらかたやHPにより条例理念の周知・啓発を行った。 ・枚方人権まちづくり協会と連携し、講座「生きること」など、啓発のための講演を6回実施した。（参加者数　365人）	・人権週間の街頭啓発において条例理念の周知チラシを作成し啓発（配付）を行った。 ・枚方人権まちづくり協会と連携し、講座「生きること」など、啓発のための講演を6回実施した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【11_01】ー 具体的な取り組み

市長公室

施策名称	人権教育･啓発の推進

２．性的マイノリティ支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
性の多様性の理解促進の一環として、「LGBTQ+電話相談」、「コミュニティスペース」のほか、市民向け啓発事業の実施。	相談者の利便性の向上を図るため、現行のLGBTQ+電話相談に加え若年の相談者にも利用しやすいオンライン（チャット）相談を開始	継続	継続	継続	人権政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
コミュニティスペース、チャット相談の利用者についてはまだ限られているため、今後より効果的な周知を図る必要がある。	LGBTQ+の相談支援を拡充し、より利用しやすい体制づくりに取り組み、当事者に寄り添った支援を推進してきた。	LGBTQ+相談支援について利用しやすい体制を継続し、当事者に寄り添った支援を推進してきた。 YouTubeに動画をアップロードし、周知を図った。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【11_01】ー 施策指標

市長公室

施策名称	人権教育・啓発の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
啓発イベント等に参加した人の満足度	啓発イベント等に参加した人のアンケート結果で、満足した人の割合	90	96	96	96	%	人権政策課	1．人権尊重の意識醸成
各年度の実績		95.29	92.1			%	備考	
【施策指標の分析 R6】目標を上回る結果で、満足した人の中でも、7割以上が5段階で最高の評価をしている。今後は実績を維持しつつ、より幅広い層が参加する啓発事業に取り組む。								
【施策指標の分析 R7】 満足度の設問について、未記入のまま回答されたものが例年より多く、実績値を押し下げた。参加者数や最高評価をした参加者の割合は増加しており、実績の維持と参加者数の増加を両立する啓発事業を行っていく。								
人権啓発イベント等の参加者数	人権に関する講座など人権啓発イベント等への参加者数	630	630	630	630	人	人権政策課	1．人権尊重の意識醸成
各年度の実績		365	449			人	備考	
【施策指標の分析 R6】計画通りに啓発事業を実施したが、12月の人権週間事業の参加者が、例年と比べ大きく減少するなど各事業において参加者数が少なかった。今後は、多くの参加者が見込める話題性と、人権啓発の意義付けの両立できるような啓発事業を検討していく。								
【施策指標の分析 R7】 計画通りに啓発事業を実施したが、各事業において参加者数の伸びが少なかった。今後は、多くの参加者が見込める話題性と、人権啓発の意義付けの両立できる啓発事業に取り組んでいく。								

施策シート【11_01】ー 施策指標

市長公室

施策名称	人権教育・啓発の推進

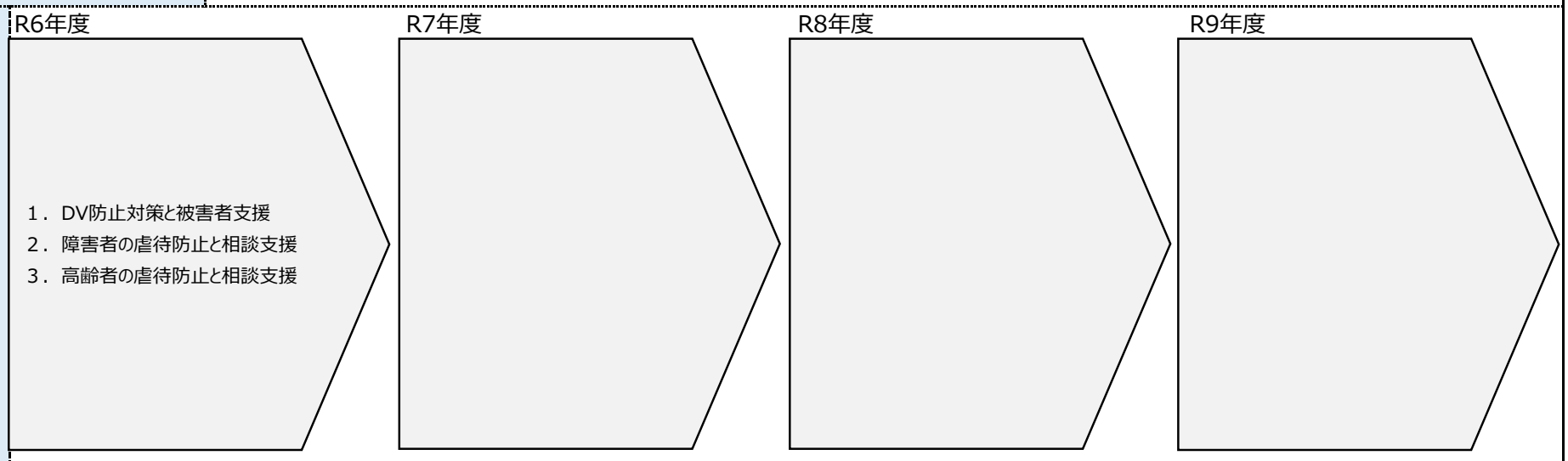
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
LGBTQ＋相談（電話・オンライン（チャット））利用者満足度	LGBTQ＋相談（電話・オンライン（チャット））を利用した人の事後アンケートで「相談してよかった」と回答した人の割合	90	90	90	90	%	人権政策課	2．性的マイノリティ支援
各年度の実績		80	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】電話相談の利用者は減少傾向であるが一定の需要がある。R6.11開始のチャット相談の利用者についてはまだ限られているため、今後より効果的な周知を図る必要がある。（R7年度より指標変更）								
【施策指標の分析 R7】 利用者満足度は高いが、電話相談およびチャット相談の利用者数が少ない。今後より効果的な周知を図る必要がある。								

施策シート【11_02】

市長公室、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	**人権侵害への支援の充実**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち
めざす姿（主観的満足度）		一人ひとりが人権を尊重し合えている
概要		配偶者等からの暴力（DV）や、高齢者、障害者などへのさまざまな人権侵害に対し、関係機関が連携しながら支援の充実を図る。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【11_02】ー 具体的な取り組み

市長公室、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	人権侵害への支援の充実

１．DV防止対策と被害者支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」におけるDV相談及び、DV防止に向けた啓発事業等の実施。	・DV被害者の相談対応 ・各種証明発行 ・保護命令申立支援 ・一時保護移送 ・DV防止啓発イベント等の実施 ・小中学校へのDV予防教育プログラムを実施	継続	継続	継続	人権政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
DV相談では児童虐待や生活困窮など、関係機関と連携が必要な相談も多いためより連携を強化していく。DV防止に向けた啓発については、引き続き、若年層に向けた効果的な啓発に努める。	枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」において、電話相談、面接相談を実施した。また、デートDV防止案内カードを市内高等学校の希望校に配布し、デートDV防止ハンドブック「あなたと私の心とからだを大切にするために」を市内中学校の希望校に配布した。小中学校に「ＤＶ予防教育プログラム」を周知し希望校で実施した。	枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」において、電話相談、面接相談を実施した。また、デートDV防止案内カードを市内大学及び高等学校の希望校に配布し、デートDV防止ハンドブック「あなたと私の心とからだを大切にするために」を市内中学校の希望校に配布した。小中学校に「ＤＶ予防教育プログラム」を周知し希望校で実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【11_02】ー 具体的な取り組み

市長公室、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	人権侵害への支援の充実

２．障害者の虐待防止と相談支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
障害者虐待の通報・相談を受けて、被害者の保護や再発防止などの支援を実施。	・全ての通報等を対象にコア会議で対応方針を検討 ・支援の連携強化を目的に虐待防止関係機関会議を開催	継続	継続	継続	障害支援課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
虐待対応は、問題が深刻化する前に早期に発見し、支援を開始することが重要であるため、引き続き関係機関と連携しながら、迅速な対応を推進する。	・コア会議による検討を中心に、迅速な対応を図った。 ・虐待防止関係機関会議を開催し、連携の強化を図った。	・コア会議による検討を中心に、迅速な対応を図った。 ・12月に虐待防止関係機関会議を開催し、連携の強化を図った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【11_02】ー 具体的な取り組み

市長公室、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	人権侵害への支援の充実

３．高齢者の虐待防止と相談支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
高齢者に対する虐待発生の予防や早期発見、必要な支援につなぐため、市や地域包括支援センターで高齢者虐待に関する相談を実施。	高齢者虐待に関する相談に迅速に対応	継続	継続	継続	健康福祉総合相談課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
高齢者虐待に関する相談に対して、地域包括支援センターをはじめとした関係者と連携し、相談にあたった。	地域包括支援センターと協力し、ネットワーク会議を開催した。	引き続き、地域包括支援センターと協力し、ネットワーク会議を開催した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【11_02】ー 施策指標

市長公室、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	人権侵害への支援の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
DV被害に関する相談件数	配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」におけるDV被害に関する相談件数	1,800	1,850	1,900	1,950	件	人権政策課	1．DV防止対策と被害者支援
各年度の実績		1,264	1616			件	備考	
【施策指標の分析 R6】R5年度までのコロナ禍においては電話による相談が35%増加、面接相談も増加傾向であり、高止まりが続いていたが、R6年度においては大幅に相談件数が減少した。								
【施策指標の分析 R7】電話相談、面接相談ともにR6年度と比較して増加した。特に面接相談については一時保護の件数も増えたため、大幅な増加が見られた。								
DVに関する各種証明発行件数	配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」において、住民票の閲覧制限に係る証明など、各種証明を発行した件数	150	155	160	165	件	人権政策課	1．DV防止対策と被害者支援
各年度の実績		117	167			件	備考	
【施策指標の分析 R6】DVに関する各種証明発行件数は例年150件前後を推移しており、R6年度は若干減少した。引き続き、庁内関係課、転出先及び前住所地等の自治体住民基本台帳担当等と綿密に連携し、支援者の申し出に基づき証明書発行の対応を行う。								
【施策指標の分析 R7】DVに関する各種証明発行件数はR6年度は若干減少したものの例年150件前後を推移。引き続き、庁内関係課、転出先及び前住所地等の自治体住民基本台帳担当等と綿密に連携し、支援者の申し出に基づき証明書発行の対応を行う。								

施策シート【11_02】ー 施策指標

市長公室、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	人権侵害への支援の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
障害者虐待に関する相談件数	「障害者虐待防止センター」における障害者虐待に関する相談件数	80	80	80	80	件	障害支援課	2．障害者の虐待防止と相談支援
各年度の実績		99	90			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 相談窓口の周知や関係機関と連携した対応の結果、定期的に通報が行われており、前年度（97件）とほぼ横ばいの相談実績で推移している。								
【施策指標の分析 R7】 相談窓口の周知や関係機関と連携した対応の結果、定期的に通報が行われており、前年度（99件）と同程度の相談実績で推移している。								
障害者虐待に関する相談の結果、解決・支援につながった割合	虐待認定の結果、解決、支援につながった割合	100	100	100	100	%	障害支援課	2．障害者の虐待防止と相談支援
各年度の実績		100	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 虐待認定事案など対応が求められるケースについては、関係機関との連携を図りながら、全ての事案において必要な支援を実施した。								
【施策指標の分析 R7】 虐待認定事案など対応が求められるケースについては、全ての事案において初動対応会議を開催し、関係機関との連携を図りながら、必要な支援を実施した。								

施策シート【11_02】ー 施策指標

市長公室、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	人権侵害への支援の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
高齢者虐待に関する相談件数	高齢者虐待に関する市への相談件数	140	140	140	140	件	健康福祉総合相談課	3．高齢者の虐待防止と相談支援
各年度の実績		119	170			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 虐待の相談件数としては、横ばい傾向である。関係機関と連携しながら、虐待の相談に迅速に対応していく。								
【施策指標の分析 R7】 虐待の相談件数としては、横ばい傾向である。関係機関と連携しながら、虐待の相談に迅速に対応していく。								
高齢者虐待に関する相談の結果、解決・支援につながった割合	市や地域包括支援センターが対応した高齢者虐待の相談に対して、適切な支援先につなげられた割合	100	100	100	100	%	健康福祉総合相談課	3．高齢者の虐待防止と相談支援
各年度の実績		100	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 高齢者の相談窓口として、地域包括支援センターと協力してネットワーク会議を開催し、虐待の早期発見、早期対応に向け取り組んだ。引き続き関係機関と連携し、虐待防止の取り組みとともに支援を行っていく。								
【施策指標の分析 R7】 高齢者の相談窓口として、地域包括支援センターと協力してネットワーク会議を開催し、虐待の早期発見、早期対応に向け取り組んだ。引き続き関係機関と連携し、虐待防止の取り組みとともに支援を行っていく。								

施策シート【11_03】

市長公室、観光にぎわい部、総合教育部、学校教育部

施策名称	**多文化共生社会の形成の支援**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち
めざす姿（主観的満足度）		一人ひとりが人権を尊重し合えている
概要		多様な文化を認め合えるよう、人権教育・啓発を図るとともに、外国籍の市民等にとっても、住みやすいまちづくりを行う。

計画期間中の実施予定時期

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1．多文化共生の推進 2．標識等の多言語化 3．外国籍の市民等への支援の充実 4．多文化共生教育の推進		1．多文化共生の推進 ○一元的相談窓口を開設。入管庁の電話通訳に加え、デジタル機器を用いた通訳を導入。 2．標識等の多言語化 ○標識、案内板の多言語化を段階的に具体化	

施策シート【11_03】ー 具体的な取り組み

市長公室、観光にぎわい部、総合教育部、学校教育部

施策名称	多文化共生社会の形成の支援

１．多文化共生の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・外国人市民等のニーズを踏まえた「国際化施策に関するの考え方」の取り組みの具体化及び推進。 ・「国際化施策に関する考え方」における取り組みの進捗管理。	・ニーズを踏まえた取り組みの具体化検討 ・現状把握	外国人市民等のニーズを踏まえた「国際化施策に関する考え方」の取り組みの推進	・継続 ・「外国人相談コーナー」を開設。入管庁の電話通訳に加え、デジタル機器を用いた通訳を導入。	・継続 ・窓口の運営を継続。他の相談メニューや手段についても検討する。	観光交流課、広聴相談課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・外国人市民等のための相談窓口について具体化に向けた検討を進める。 ・外国人市民等のための相談窓口はR8年度の専用ブース設置に向けて、資料の収集やFAQの整備など、情報やノウハウの蓄積を進めていく必要がある。引き続き、外国人市民等のニーズをとらえた相談体制の充実に努める。	・「国際化施策に関する考え方」の取り組みについて、庁内照会とヒアリングによる現状把握を行った。 ・外国人市民等の相談窓口について、他市状況や国制度の調査を行い、国際化施策検討委員会で協議した。	・「国際化施策に関する考え方」の取り組みについて、庁内照会による現状把握を行った。 ・相談窓口の多言語による対応を試行的に実施			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【11_03】－ 具体的な取り組み

市長公室、観光にぎわい部、総合教育部、学校教育部

施策名称	多文化共生社会の形成の支援

２．標識等の多言語化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
外国籍の市民等に向けた標識、案内板の多言語化を推進。	・観光関係の案内板等の多言語化の実施（枚方宿） ・市域全体の案内板における多言語化に着手する候補選定など対応策の検討	・観光関係の案内板等多言語化の実施（枚方八景など） ・市域全体の案内板における多言語化の具体化に向けて進め方を整理	市域全体の案内板における多言語化の実施	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・観光交流課所管の案内板等について、引き続き、多言語化に取り組む。 ・引き続き、庁内各課に取り組みを促す。	・枚方宿周辺において、看板等の補修に合わせ、18カ所で多言語化を実施した。 ・国際化施策の考え方に基づき、庁内全課へ「公共施設等の都市施設の案内・サイン等の多言語化の推進」への取り組みを促した。	・枚方市内において、案内板の補修等に合わせ、10カ所で多言語化を実施した。 ・国際化施策の考え方に基づき、庁内全課へ「公共施設等の都市施設の案内・サイン等の多言語化の推進」への取り組みを促した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【11_03】－ 具体的な取り組み　　市長公室、観光にぎわい部、総合教育部、学校教育部

施策名称	多文化共生社会の形成の支援

３．外国籍の市民等への支援の充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①生活のうえで必要となるさまざまな情報を提供することを目的に、やさしい日本語を含む７か国語にて「外国人のための枚方生活ガイド」を発行。 ②生涯学習市民センターでは日常生活に困っている人を対象に日本語・多文化共生教室として「よみかき教室」を実施。	・現状把握 ・ニーズを踏まえた取り組みの具体化検討 ①継続 ②日常生活において、日本語の読み書きや会話に困っている方を対象に、日本語学習の場を提供する。地域に住むすべての人が、豊かに生き生きと暮らすことができる社会の実現を目指す	継続	継続	継続	観光交流課、教育政策課、文化生涯学習課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
①ガイドの年度更新を行うとともに、外国人市民等のための相談窓口について具体化に向けた検討を進める。 ②「よみかき」教室の安定的な活動、教室運営が行われるように必要なスタッフの配置を行うとともに、スタッフのレベルアップを図るための研修を継続して実施する必要がある。 引き続き、学習者のニーズを踏まえた日本語学習の場の提供に努める。	①11月にガイドの年度更新版を発行した。外国人市民等の相談窓口について、他市状況や国制度の調査を行い、国際化施策検討委員会で協議した。 ②●生涯学習市民センター（5カ所）・生涯学習交流センターで実施。延べ参加者数2,166名 ●スタッフのレベルアップを目指した「スタッフ研修」を実施（参加者数42名（1回目：26名、2回目：16名）） ●「北河内識字・日本語交流会」（会場：交野市）へ参加（参加者数46名）	①外国人のための枚方生活ガイドを発行した。 ②●生涯学習市民センター（5カ所）・生涯学習交流センターで実施。延べ参加者数2,511名 ●スタッフのレベルアップを目指した「スタッフ研修」を実施（参加者数26名） ●「北河内識字・日本語交流会」（会場：枚方市）へ参加（参加者数87名）			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【11_03】ー 具体的な取り組み

市長公室、観光にぎわい部、総合教育部、学校教育部

施策名称	多文化共生社会の形成の支援

４．多文化共生教育の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
小中学校における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、異文化理解のための学習会や授業研究を実施。	異文化理解のための学習会や授業研究を実施	継続	継続	継続	支援教育課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
今後、学校現場の教員が多文化共生教育の研究の場に積極的に参画できる環境を醸成し、取り組みのさらなる推進を図る。	講演会（6月・9月）、学習会（1月）、冬のつどい（2月）などを実施した。	研究会・報告会（５月）講演会（9月）、学習会（1月）、秋のつどい（11月）などを実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【11_03】－ 施策指標

市長公室、観光にぎわい部、総合教育部、学校教育部

施策名称	多文化共生社会の形成の支援

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
国際化関連講座受講者数	市が主催する国際理解講座等、多文化共生、国際化推進のための講座・イベント参加者数	86	200	210	220	人	観光交流課	1．多文化共生の推進
各年度の実績		166	116			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 ベトナムをテーマにした国際理解講座について予定定員35名を上回る応募があり、受講人数を増やし対応した。								
【施策指標の分析 R7】 昨年度、上記の状況を受け目標値を拡大したが、今年度の講座が例年通りの定員となったため目標未達となった。								
外国人相談窓口満足度	枚方市品質マネジメントシステムに基づき「満足」「概ね満足」と回答した件数/アンケート回答者数×100	－	80	85	90	%	広聴相談課	1．多文化共生の推進
各年度の実績			100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】								
【施策指標の分析 R7】 指標は達成しているものの、当年度は試行実施におけるデータであり回答者数が少ないため、今後の利用者増加に備え、指標を維持できるよう努める。								

施策シート【11_03】ー 施策指標

市長公室、観光にぎわい部、総合教育部、学校教育部

施策名称	多文化共生社会の形成の支援

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
日本語・多文化共生教室「よみかき」の学習者の満足度	年度末に実施する学習者向けアンケートにおいて、「この教室で日本語を勉強してよかったですか」の項目で「よかった」と回答した学習者の割合	80	90	90	90	%	教育政策課、文化生涯学習課	3．外国籍の市民等への支援の充実
各年度の実績		95	97			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 教室への参加学習者のアンケートにおいて教室に参加して「よかった」という声を95%得るとともに、スタッフ研修参加者のアンケートにおいて80%以上の満足を得るなど、学習者、スタッフともに実施の成果があった。								
【施策指標の分析 R7】 教室への参加学習者のアンケートにおいて教室に参加して「よかった」という声を97%得るとともに、スタッフ研修参加者のアンケートにおいて参加者全員の満足を得るなど、学習者、スタッフともに実施の成果があった。								

施策シート【11_03】ー 施策指標

市長公室、観光にぎわい部、総合教育部、学校教育部

施策名称	多文化共生社会の形成の支援

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
国際理解教育に努めている学校数	学校教育計画に国際理解教育について掲載している学校数	63	63	63	63	校	支援教育課	４．多文化共生教育の推進
各年度の実績		63	63			校	備考	
【施策指標の分析 R6】 市立小・中学校全校で国際理解教育を学校教育計画に掲載し実施できている。今後、国際理解や多文化共生に係る客観的な施策指標を検討する。								
【施策指標の分析 R7】 市立小・中学校全校で国際理解教育を学校教育計画に掲載し実施できている。施策指標については最終決定には至っていないため、来年度についても引き続き国際理解や多文化共生に係る客観的な施策指標の設定に向けて協議を進める。								

施策シート【12_01】

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	**女性活躍の推進**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	12.男女がともに参画し、個性を発揮できるまち
めざす姿（主観的満足度）		男女共同参画社会が実現している
概要		女性の職業生活などにおける活躍の推進を図るとともに、男女がともに仕事と生活を両立することができるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進を図る。

計画期間中の実施予定時期

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1．市役所男性職員の育児休暇の取得促進による女性が働きやすい環境の推進 2．市役所女性職員の活躍推進 3．女性のための相談支援 4．男女共同参画の推進 5．男性の育児休暇の取得、女性が働きやすい市内企業の応援		1．市役所男性職員の育児休暇の取得促進による女性が働きやすい環境の推進 ○２週間以上の育児休業を取得した男性職員の割合100%	

施策シート【12_01】－ 具体的な取り組み

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	女性活躍の推進

１．市役所男性職員の育児休暇の取得促進による女性が働きやすい環境の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
男性職員に対する育児に関する休暇・休業制度の全体的な周知。対象職員への育児参画の意義を含めた啓発を実施。	・幅広い年代へのアプローチとして研修時に育休の内容を盛り込む ・男性育休リーフレットのブラッシュアップ ・収入面の情報も含めた取得パターンの例示 ・課題解消につなげるための取得しない場合の理由聴取などの取り組みを推進	継続	継続	継続	職員課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
令和８年度は、高い目標設定としていることから、取り組みの更なる推進を図っていく。	・新入職員研修を初めとする各職制への研修の場で周知・啓発を実施。 ・リーフレットを改訂し、収入面に関する情報を盛り込んだ取得パターンを例示するなど、内容を充実させるとともに、対象者が所属長と面談しながら計画的な休暇・休業の取得ができるような内容とした。	・各職制への研修の場で周知・啓発を実施。 ・育児休業を取得した男性職員との座談会を開催し、育児休業を取得して良かったことなど育休取得者のリアルな声を庁内報にまとめ、育休を取得するイメージができるように発信を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【12_01】－ 具体的な取り組み

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	女性活躍の推進

２．市役所女性職員の活躍推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
管理職に占める女性職員比率について、30%を目指し、女性職員のさらなる活躍の推進を図り、女性職員のキャリア形成を促進。 管理職の魅力ややりがいをアピールし、キャリアアップへの不安解消など、多くの女性職員が昇任意欲を持てるような取り組みを実施。	・キャリアデザイン研修の実施 ・女性管理職のロールモデルの提示等を行う	継続	継続	継続	人事課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
幅広い年齢層の職員を採用していることから、より早期から男女問わずキャリアを考える機会を設けるため、新入職員及び主任２年目にキャリアデザイン研修を実施する。 また、女性管理職の生の声を聴くことで、管理職員の魅力ややりがいを知るとともに、キャリアアップへの不安解消を図るため、引き続きロールモデルの掲示や座談会を実施するとともに、すでに管理職となった女性職員が不安を解消できるような相談体制を整備していく。	・入職10年目または主任２年目職員を対象に、１月にキャリアデザイン研修を実施した。 ・女性管理職のロールモデルとして、インタビュー記事をグループウェアの掲示板にて掲載した。 ・新任主査等の女性職員を対象に、女性管理職との座談会を実施した。	・主任２年目職員を対象に、１月にキャリアデザイン研修を実施した。 ・役職定年となった元部長級職員が女性活躍アドバイザーに就任し、女性管理職のロールモデルとして、インタビュー記事を**庁内ネットワークに掲示**した。 ・新任主査等の女性職員を対象に、１月に女性管理職との座談会を実施した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【12_01】ー 具体的な取り組み

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	女性活躍の推進

３．女性のための相談支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
「男女共生フロア・ウィル」で女性・男性及びLGBTQなど、性別に係る困りごとに関する相談を実施。	・女性のための面接・電話・法律相談 ・男性のための電話相談 ・LGBTQ+相談（電話・オンライン（チャット））	継続	継続	継続	人権政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
各種相談について、今後も実績を注視しながら、相談ニーズに応じた事業展開を図っていく。また、相談機関相互の連携を密にとっていく必要がある。	男女共生フロア・ウィルにおいて、各種相談を実施した。また、他部署の相談機関からの紹介による来所が増え、相談機関相互の連携が密になった。	男女共生フロア・ウィルにおいて、各種相談を実施した。また、他部署の相談機関からの紹介による来所が増え、相談機関相互の連携が密になった。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【12_01】－ 具体的な取り組み

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	女性活躍の推進

４．男女共同参画の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民の男女共同参画意識の向上に向け、男女共同参画に関する啓発講座等を実施。 第3次枚方市男女共同参画計画に基づき、男女共同参画を推進。	・市民を対象とした男女共同参画に関する講座やイベントを開催 ・本市の審議会の女性委員登用を促進	継続	継続	継続	人権政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・男女共同参画に関する様々なテーマで幅広い市民への啓発を行っていく。 ・本市の全ての審議会の女性委員比率35%を目指すとともに、35%を達成することが困難な状況改善に向けて検討する。	・男女共同参画に関する様々なテーマで幅広い市民への啓発を行った。 ・本市の全ての審議会における女性委員の比率を35%以上を目指し登用を促進した。	・男女共同参画に関する様々なテーマで幅広い市民への啓発を行った。 ・本市の全ての審議会における女性委員の比率を35%以上を目指し登用を促進した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【12_01】－ 具体的な取り組み

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	女性活躍の推進

５．男性の育児休暇の取得、女性が働きやすい市内企業の応援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市内事業者の労働環境改善に向け、国・府と連携して啓発を実施。	・国制度の認定を受けた市内事業者を取材し、取組事例などをHPやSNSで発信して啓発 ・市内事業者を対象としたセミナー等を開催	継続	継続	継続	商工振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
市内事業者の労働環境改善に向けて、くるみん・えるぼし認定等の取得や各種相談窓口など、周知や普及啓発を行う必要がある。	・誰もが働きやすい職場づくりのための関連情報を、市ホームページで６件掲載して事業者に周知した。 ・周知方法を工夫し、想定より多くの市内事業者に周知することができた。(1,216件) ・くるみん認定を受けた市内事業者を１社取材し、取組事例をHPやSNSで発信した。	・誰もが働きやすい職場づくりのための関連情報を、市ホームページに６件、広報ひらかたに１件掲載し、事業者に広く周知した。 ・地域経済動向調査や事業者向けイベント時に合わせて周知することで、個別の事業者に周知することができた。(1,999件) ・くるみん認定を受けた市内事業者を１社取材し、取組事例をHPやSNSで発信した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【12_01】－ 施策指標

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	女性活躍の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
２週間以上の育児休業を取得した男性職員の割合	当該年度中に新たに連続２週間以上の育児休業を取得した市役所男性職員数／当該年度中に子が出生した市役所男性職員数	60	85	100	100	%	職員課	１．市役所男性職員の育児休暇の取得促進による女性が働きやすい環境の推進
各年度の実績		74	76.9			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 これまでからの取り組みにより、少しずつ職員の意識変容が進んでいると感じており、取得率は年々向上している。令和７年度以降の目標も達成できるよう、今後も取り組みを推進していく。								
【施策指標の分析 R7】 育児休業に関する情報を様々な角度から継続して発信してきたことで、職員の意識も変わりはじめ、取得率は年々向上している。令和８年度以降の目標も達成できるよう、今後も取り組みを推進していく。								

施策シート【12_01】－ 施策指標

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	女性活躍の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
管理職に占める女性の割合	市役所における女性管理職／全管理職	30	30	30	35	%	人事課	2．市役所女性職員の活躍推進
各年度の実績		28.1	29.4			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 管理職員の魅力ややりがいを知ってもらうため、女性管理職のロールモデルを紹介したほか、キャリア・アップの不安解消を図るため、女性管理職との座談会を実施した。今後も女性職員のさらなる活躍の推進のための取り組みを進めていく。								
【施策指標の分析 R7】 管理職員の魅力ややりがいを知ってもらうため、女性管理職のロールモデルを紹介したほか、キャリア・アップの不安解消を図るため、女性管理職との座談会を引き続き実施し、目標達成には至らなかったものの、前年度対比で1.3ポイント上昇した。今後も女性職員のさらなる活躍の推進のための取り組みを進めていく。								

施策シート【12_01】ー 施策指標

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	女性活躍の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
男女共生フロア・ウィルでの相談件数	男女共生フロア・ウィルの相談者数（電話・来所）	41	55	1020	1030	件	人権政策課	3．女性のための相談支援
各年度の実績		ー	995			件	備考	
【施策指標の分析 R7】ジェンダーに関わる相談、困難な問題を抱える女性の相談を電話および来所で対応し、相談ニーズに応じて関係機関との連携を図った。相談窓口として周知し、今後も取り組みを進める。							R6年度までの目標値は直営分のみ。 R7年度以降の実績値、R8年度以降の目標値は委託分も含む。	

施策シート【12_01】－ 施策指標

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	女性活躍の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
男女共同参画の理解が深まった人の割合	男女共生フロア・ウィルの講座やイベントに参加した人のうち、アンケートで男女共同参画の理解が深まったと回答した人数／アンケート回答者数	95	95	95	95	%	人権政策課	4．男女共同参画の推進
各年度の実績		91	89.3			%	備考	
【施策指標の分析 R6】男女共同参画に関する講座全般において、男女共同参画の理解が深まったとの回答率が高いため、引き続き様々なテーマで幅広い市民への啓発を行っていく。								
【施策指標の分析 R7】男女共同参画に関する講座全般において、男女共同参画の理解が深まったとの回答率が高いため、引き続き様々なテーマで幅広い市民への啓発を行っていく。								
男女共同参画に関する講座等の参加者数	男女共生フロア・ウィルで実施する講座等の参加者数	594	730	1,300	1,300	人	人権政策課	4．男女共同参画の推進
各年度の実績		722	1,101			人	備考	
【施策指標の分析 R6】男女共同参画に関する講座全般において、一定の参加があり、特に毎年実施の週間事業、映画上映会において多数の参加者が見られる。引き続き様々なテーマで幅広い市民への啓発を行っていく。								
【施策指標の分析 R7】男女共同参画に関する講座全般において、一定の参加があり、特に毎年実施の週間事業、映画上映会において多数の参加者が見られる。引き続き様々なテーマで幅広い市民への啓発を行っていく。								

施策シート【12_01】－ 施策指標

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	女性活躍の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
審議会等への女性委員登用率	女性委員比率が35%を達成している審議会等／全審議会等	60	62	63	64	%	人権政策課	4．男女共同参画の推進
各年度の実績		55.6	59			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 女性委員が35%を満たさない理由として、「充て職に限らず関係団体から推薦のあった委員が男性」、「審議事項の継続性を確保するため、女性委員比率に達成していない場合であっても委員を変更しない」、「依頼分野に女性が少ない」が多く、社会構造的に女性の長や役職が少ない事や推薦をもらう団体内に女性が少ないことが関係している。								
【施策指標の分析 R7】 全附属機関等での女性員比率35%達成に向け、令和８年（2026年）１月以降の委員選任手続きより、関係機関や団体の長を充て職としない、ドーンセンター人材情報提供サービスの利用、審議の継続性を理由とする更新は原則１回限りといった取り組みが開始されたことで比率向上を目指す。								

施策シート【12_01】－ 施策指標

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	女性活躍の推進

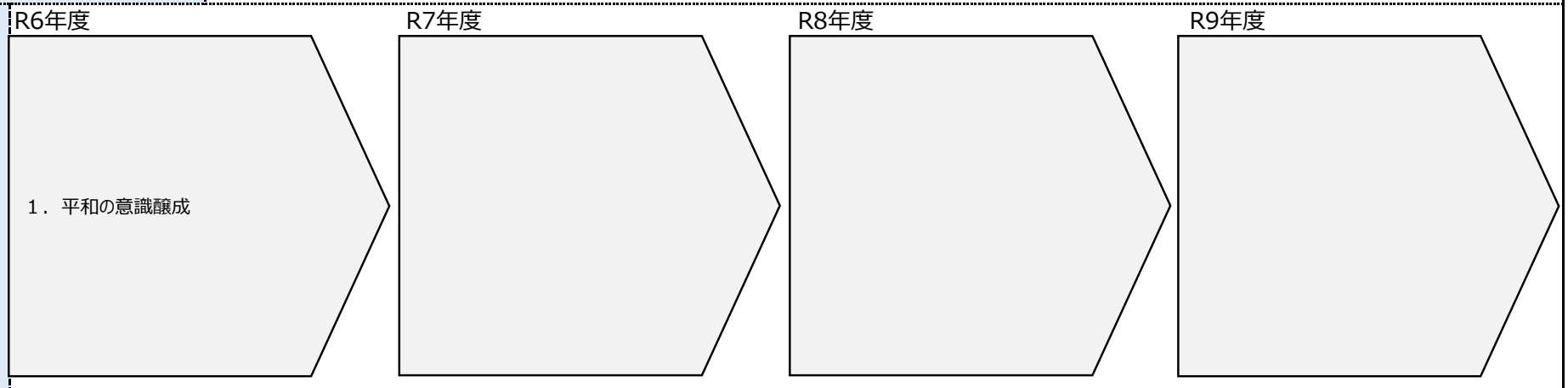
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
周知啓発を行った市内事業者数	セミナー等を通して、直接周知啓発を行った市内事業者数	600	1,220	1,240	1,260	件	商工振興課	５．男性の育児休暇の取得、女性が働きやすい市内企業の応援
各年度の実績		1,216	1,999			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 市内事業者の労働環境改善に向けた取り組みを推進するため、市内事業者に対し啓発活動を行う。								
【施策指標の分析 R7】 市内事業者に対し、地域経済動向調査や事業者向けイベント時に合わせて周知することで、目標値を達成する周知をすることができた。今後も目標達成に向けて周知啓発活動に取り組んでいく。								
くるみん・えるぼしの認定を受けた市内事業者数	くるみん・えるぼしの新たな認定又は更新の認定を受けた市内事業者数	－	1	1	1	件	商工振興課	５．男性の育児休暇の取得、女性が働きやすい市内企業の応援
各年度の実績		－	1			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 －								
【施策指標の分析 R7】 枚方市内の１事業者がくるみん認定を新たに取得した。今後も目標達成に向けて周知啓発活動に取り組んでいく。								
「男女いきいき・元気宣言」登録制度に登録した市内事業者数	「男女いきいき・元気宣言」登録制度に新たに登録した市内事業者数	－	－	－	5	件	商工振興課	５．男性の育児休暇の取得、女性が働きやすい市内企業の応援
各年度の実績		－	－			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 －								
【施策指標の分析 R7】 －								

施策シート【13_01】

市長公室

施策名称	**平和意識の向上**	
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	13.平和の大切さを後世に伝えるまち
めざす姿（主観的満足度）		平和の大切さが継承されている
概要		平和な社会の実現に向けて、平和意識の向上を図り、戦争の悲惨さを後世に伝える取り組みを進める。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【13_01】ー 具体的な取り組み

市長公室

施策名称	平和意識の向上

１．平和の意識醸成

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代の子どもたちに伝え、市民に平和について考える機会をより効果的に実施するため、次世代を担う青少年をターゲットとした内容や広報の見直しを実施。	企画（参画してくれる若者の募集、勉強会・意見交換・とりまとめ）	事業実施	既存事業に継承	継続	人権政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
ターゲットとしている青少年の参加割合をさらに増やすため、広島や長崎など先進的な取り組みも参考に、若い世代の参加意欲が高まるような平和啓発事業の内容や広報などについてアップデートしていく必要がある。	・10月と12月に、中学生と「枚方から平和を発信できるイベントを開催したい」をテーマに学習する機会を持った。 ・今まで戦争や平和について、身近に感じていなかった若い世代から「出来ることから始める」など前向きな感想が寄せられた。	・講師と小中学生が平和について聴衆の前で意見交換する場を実施した。 ・上記については、枚方の平和の取組等についての事前勉強会を行った。 ・SNS等で話題の上がった若い世代向けの映画会を開催した。 ・平和の燈火において、大学生等からなる実行委員と、平和パネル展の作成など平和に向けた催しを行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【13_01】ー 施策指標

市長公室

施策名称	平和意識の向上

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
平和啓発事業に参加した人の満足度	平和啓発事業の参加者へのアンケート調査で、満足した人の割合。	85	93	94	95	%	人権政策課	1．平和の意識醸成
各年度の実績		92	90.3			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 実施したさまざまな平和啓発事業全般において、満足したと回答した人の割合が高いため、今後も引き続き、事業内容の精査に努め平和啓発を行っていく。								
【施策指標の分析 R7】 実施したさまざまな平和啓発事業全般において、満足したと回答した人の割合が高いため、今後も引き続き、事業内容の精査に努めより多くの方に平和啓発を行っていく。								
平和に関するイベントの参加者数	3月1日の「枚方市平和の日」などに開催する平和に関するイベントの参加者数	2,500	2,700	3,300	3,300	人	人権政策課	1．平和の意識醸成
各年度の実績		2,665	3,882			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 実施したさまざまな平和啓発事業全般において、一定の参加者があり、定員を超える申し込みのあった事業もあった。今後も引き続き事業内容の精査に努め平和啓発を行っていく。								
【施策指標の分析 R7】 実施したさまざまな平和啓発事業全般において、多くの参加者があり、定員を超える申し込みの事業もあった。特に令和７年度は終戦８０年平和事業を行ったことから参加者数は大きく伸長した。今後も引き続き事業内容の精査に努め平和啓発を行っていく。								